Panasonic

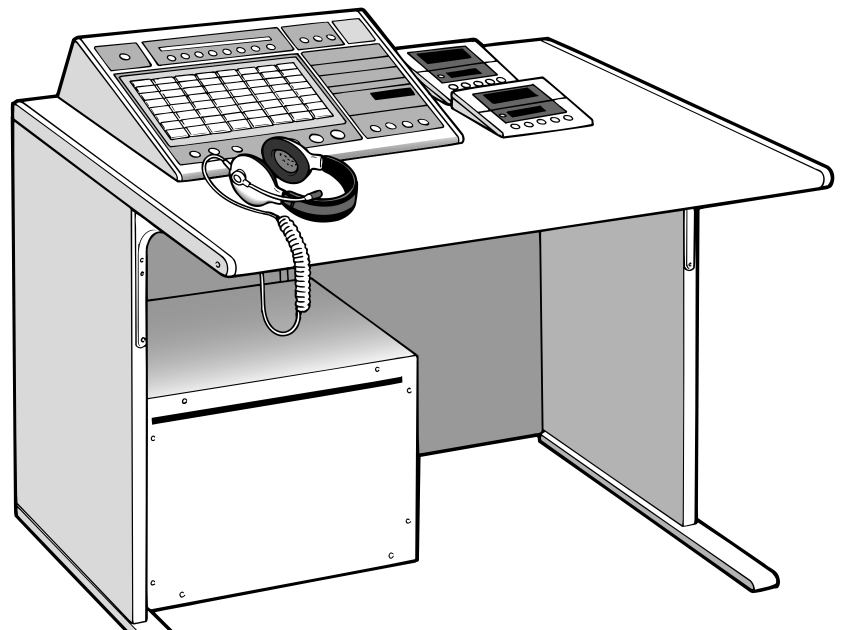
ラーニング・ラボラトリー・システム

品番 WE-LL200シリーズ

取扱説明書

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

このたびは、パナソニック　ラーニング・ラボラトリー・システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

もくじ

安全上のご注意 ……4 ～5
使用上のお願い ……6
WE-LL200 シリーズシステム構成……7
各部の名前と働き……8 ～18
■LL操作ユニットWE-LL210 ……8 ～11
■マスターテープレコーダーWE-LM20 ……12
■マスターテープレコーダーWE-LM51 ……13
■ブーステープレコーダーWE-LB20A ……14
■ブーステープレコーダーWE-LB51 ……15～16
機能の概要 ……17～25
■AAC授業 ……17
■会話練習……18
■LL操作ユニットの制御 ……18
■マスターテープレコーダーの制御 ……19～21
■ブーステープレコーダーの制御……22
■4倍速録音中の教材送出 ……23
■教材編集……23
■教材系統切換……23
■レッスンパターン……24
■エキスパート設定一覧表……25
操作索引図 ……26～27
授業を始める前に ……28～29
基本的な授業（一斉授業の場合）……30～37
■基本的な授業の流れ ……30～31
■AV1（VTRのとき）教材の音声を生徒に送出しながら授業をする場合……32～33
■教材を4倍速で録音させながら授業する場合 ……34～35
■MTR1の教材を生徒に録音させながら授業する場合 ……36
■授業終了……37
授業切換機能……38
■授業……38
コミュニケーション機能 ……39～51
■オールコール……39
■個別モニター……40
■オートモニター ……41～42
■グループモニター ……43～44
■個別インカム……45
■グループインカム ……46～47
■モデル ……48～49
■コールレスポンス……50
■コール要求クリアー……51
■コール要求禁止……51
教材割当 ……52～53
会話練習 ……54～56
■ペア……54
■フリーペア……55
■グループ……55

■マニュアルセット……………………………………………………………………………………56
マスターテーププレコーダーの制御機能 ……………………………………………………57～60
■ポーズコントロール………………………………………………………………………………57
■MTRカウンター表示／リセット ………………………………………………………………58
■オートサーチ………………………………………………………………………………………60
ブースリモコン機能 …………………………………………………………………………61～64
■ブースリモコン ……………………………………………………………………………61～63
■ブーステーププレコーダー電源オフ……………………………………………………………64
教材モニター機能 ……………………………………………………………………………65～68
■先生モニター（教材モニター／教材頭出し）……………………………………………………65
■マイクミックス……………………………………………………………………………………66
■モニター録音／教材の録音 ………………………………………………………………67～68
教材録音／編集機能 …………………………………………………………………………69～70
■教材編集……………………………………………………………………………………………69
■教材送出切換………………………………………………………………………………………70
エキスパート機能……………………………………………………………………………………71
■エキスパート機能の変更…………………………………………………………………………71
レッスンパターン機能 ………………………………………………………………………72～74
■レッスンパターンボタン …………………………………………………………………72～74
レッスンパターン記入シート………………………………………………………………………75
レッスンパターン設定シート………………………………………………………………………76
保証とアフターサービス …………………………………………………………………………裏表紙

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
⊘ ⊘	この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
●	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

一人で持ち運ばない

禁　止

けがの原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

禁　止

感電の原因となります。

異物を入れない

禁　止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

電源コードを傷つけない

禁　止

重いものをのせたり、はさんだりするとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

●修理は販売店にご連絡ください。

電源コードを熱器具に近づけない

禁　止

コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

●修理や点検は販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

●抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

モニター内部に触れない

高圧注意

内部に高電圧があり、感電の原因となります。

⚠ 注意

踏み台や腰掛けにしない

禁　止

けがの原因となります。

通風孔をふさがない

禁　止

内部に熱がこもり火災の原因となります。

使用上のお願い

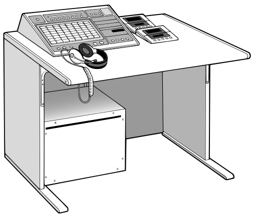
ボタンによる操作のときは、操作から次の操作までの間隔を0.5秒程度あけてください。
操作時間が短いと、動作が追随しないことがあります。

●ＡＶ機器（ＶＴＲ、ＬＤなど）のリモコン機能はありません。

LL操作ユニットの電源を切ってから、電源表示ランプが消えるまでは、再度電源を入れないでください。

ヘッドセットのマイクをにぎったり、穴をふさいだりしないでください。

お手入れは、電源を切って乾いた布で拭いてください。ほこりが取れにくいときは、台所用洗剤を布にしみ込ませて軽く拭いてください。



品名：生徒記名シート
品番：ＹＷＡ５ＤＡ０４２８Ａ2は５枚付属していますが、別途お求めになる場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■本説明書内で記述している機能はテープレコーダーにより一部機能しないものがあります。下表をご参照ください。

テープレコーダー機能表

テープレコーダー品番	テープレコーダーの機能		
	4倍速	4倍速録音中の教材送出	イジェクトロック
WE-LM51	○	—	×
WE-LM20	×	×	×
WE-LB51	○	○	○
WE-LB20A	×	×	×

○：有り　×：なし　—：LL操作ユニットの機能に依存

WE-LL200 シリーズシステム構成

●マスター部

LL操作ユニット	WE-LL210	1
LL用電源ユニット	WU-PS20（48人用）	1
増設用電源ユニット	WU-PS21（24人用）	0～1
マスター卓	城下工業株式会社斡旋品	1
袖卓	WE-L190	任意
コーナー天板	WU-L210A（オプション）	0～2
60コーナー用リアーパネル	W2-EP/L210（オプション）	0～2
ヘッドセット	WE-HS10（モノラル仕様）	1
外部マイク	（オプション）	1
マスターテープレコーダー	WE-LM20	2～4
	WE-LM51	2～4
OHC	WE-MV180	1
10型モニターテレビ	WV-CM1000	1
映像分配器	WJ-300C（システム構成により必要）	0～8

●ビデオ（事）扱い

VTR	AG-5700	1～2
	AG-7350	1～2
LD	VD-7000	1～2

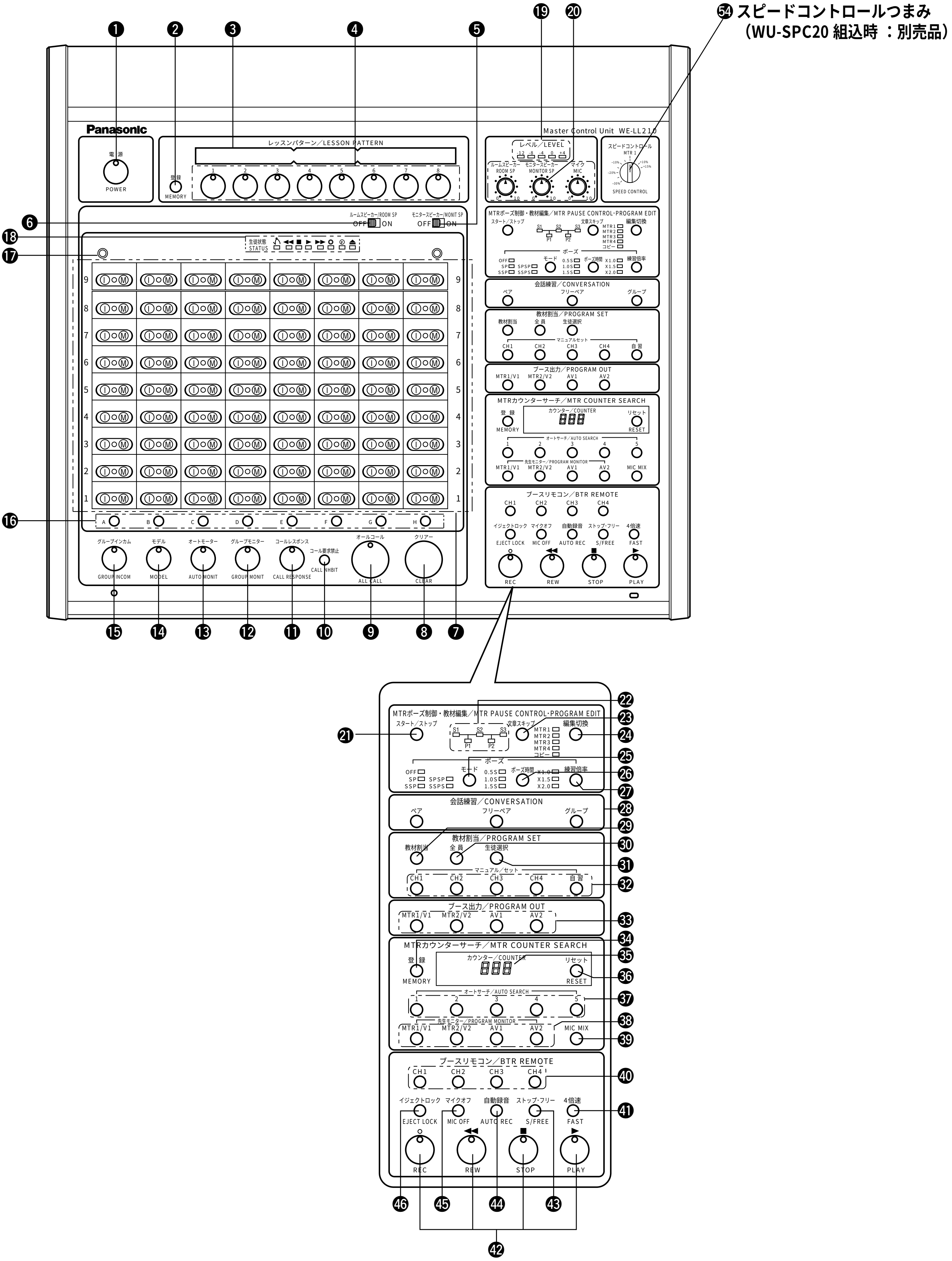
●ブース部

ブース卓	WE-L150A	最大36
	WE-L151A（10型モニターテレビ（WV-CM1000）用）	最大36
	WE-L152A（14型モニターテレビ（WV-CM1430）用）	最大36
ブーステープレコーダー	WE-LB20A	最大72
	WE-LB51	最大72
10型モニターテレビ	WV-CM1000（WE-L151A使用時）	最大36
14型モニターテレビ	WV-CM1430（WE-L152A使用時）	最大36
ヘッドセット	WE-HS10（WE-LB20A使用時）	最大72
	WE-HS21（WE-LB51使用時）	最大72

各部の名前と働き

■LL操作ユニットWE-LL210

●操作面



❶電源ボタン
（注）電源オンの状態からオフにするとき、システム構成により、システムが完全にオフになるまで時間がかかることがあります。

❷登録ボタン
レッスンパターンボタンへの登録開始をします。

❸レッスンパターン記入シート
登録したレッスンパターンの名前を記入して、とりつけてください。

❹レッスンパターンボタン1 〜8
- 登録内容に従って動作します。
- 電源オンの機能も、もっています。

❺モニタースピーカースイッチ
- モニタースピーカーのオン、オフをします。
- ヘッドセットには影響しません。
- 通常はオンにしてください。

❻ルームスピーカースイッチ
- ルームスピーカーのオン、オフをします。
- 通常はオンにしてください。

❼生徒座席／モニター・インカムボタン（A1〜H9）／出席表示ランプ
- 生徒のモニターボタンⓂを押すと、その生徒を個別にモニターすることができます。
- モニターボタンは教材割当、マニュアルセット時は、教材割当のボタンまたはペア、グループの生徒組み換えボタンになります。
- モニターボタンはエキスパート設定時は、エキスパート機能設定ボタンになります。
- 生徒のインカムボタンⒾを押すと、その生徒と個別に通話することができます。
- 生徒がブーステープレコーダーの電源を入れると出席表示ランプが点灯します。
- 生徒がコールをした場合、出席表示ランプが点滅します。

❽クリアーボタン
コミュニケーションをクリアーできます。

❾オールコールボタン
出席している全ブースに先生から呼びかけることができます。

❿コール要求禁止ボタン
生徒からのコールを受け付けないようにします。
（イタズラ防止）

⓫コールレスポンスボタン
生徒からのコールに応答できます。また、そのコールをクリアーできます。

⓬グループモニターボタン
指定したグループの生徒を、設定したスキャン時間で順次、自動的にモニターします。

⓭オートモニターボタン
設定したスキャン時間で生徒を順次、自動的にモニターします。

⓮モデルボタン
指定したモデルとの通話を他の生徒に聞かせます。

⓯グループインカムボタン
指定したグループと通話することができます。

⓰列指定ボタン：A 〜H
教材割当を列ごとに行うときに使います。

⓱ガイドピン
このガイドに生徒記名シートの孔を合わせて取り付けます。

⓲生徒状態表示LED
ブーステープレコーダーの動作状態を論理和（ＯＲ）で表示します。
例えば、停止中・再生中の生徒が両方存在する場合は、２つのLEDが点灯します。
- 𐀀：生徒操作
- ◀◀：REW （巻き戻し）
- ■：STOP（停止）
- ▶：PLAY（再生）
- ▶▶：FF（早送り）
- ○：REC （録音）
- Ⓕ：4 倍速
- ⏏：イジェクト（テープ取り出し）

⓳レベル表示ランプ
赤い表示ランプがあまりつかないように音量を調節してお使いください。

⓴音量調節つまみ
- モニタースピーカー：先生のモニターしているヘッドセット、モニタースピーカーの音量を調節します。あらかじめレベルを設定してお使いください。
- ルームスピーカー：ルームスピーカー送出している音量を調節します。
- マイク：先生のヘッドセットのマイク、外部マイクの音量を調節します。

㉑スタート／ストップボタン
ポーズ制御、コピーのスタート／ストップを行います。

㉒ポーズコントロールモード表示ランプ
ポーズコントロールの動作状態を示します。

㉓文章スキップボタン
- ポーズ制御中に不要文章のスキップを行います。

各部の名前と働き

㉔編集切換ボタン

- 編集モードの切り換えを行います。
- ＭＴＲ1～ＭＴＲ4のポーズ制御、コピーの選択ができます。
- ＭＴＲ1からＭＴＲ2へのコピーができます。
（4倍速ＭＴＲ使用時は4倍速コピーになります）
（注）授業中に行わないでください。

㉕モード切換ボタン

- ポーズ制御モードの指定をします。
- OFF、SP、SSP、SPSP、SSPS から選択します。

㉖ポーズ時間選択ボタン

- ポーズ時間を選択します。
- 0.5S、1.0S、1.5Sが選択できます。

（注）ポーズ制御中はＭＴＲ1～ＭＴＲ4の制御はできません。

㉗練習倍率選択ボタン

- ポーズ倍率を指定します。
- ×1.0、×1.5、×2.0

㉘会話練習ボタン

- ペア　　　：ペア練習開始／終了を行います。
- フリーペア：フリーペア練習開始／終了を行います。
- グループ　：グループ練習開始／終了を行います。

㉙教材割当ボタン

会話練習以外の学習では教材の割当を行います。会話練習では、会話の組の組み換えができます。

㉚全員ボタン

教材割当の全員指定を指定します。

㉛生徒選択ボタン

教材割当の生徒選択を指定します。

㉜マニュアルセットボタン

〔CH1、CH2、CH3、CH4、自習〕

- 教材のCH1～4、自習の設定、又は会話練習の組み換えができます。

㉝ブース出力ボタン

〔ＭＴＲ1／Ｖ1、ＭＴＲ2／Ｖ2、ＡＶ1、ＡＶ2〕
ブースへ送出する音声のオン／オフを行います。

㉞登録ボタン

オートサーチ機能のカウンター㉟の値の登録に使用します。

㉟カウンター

㊱リセットボタン

- MTR 1～4のカウンターに対して有効です。

㊲オートサーチボタン：1 ～5

登録オンのときは登録になり、登録オフでは登録したカウンター値をサーチします。
先生モニターで選択しているＭＴＲが対象となります。

㊳先生モニターボタン

〔ＭＴＲ1／Ｖ1、ＭＴＲ2／Ｖ2、ＡＶ1、ＡＶ2〕
先生用のヘッドセットでのモニターを選択します。

㊴MIC MIX ボタン

ブースに送り出している教材に先生の声をミキシングします。

㊵ブースリモコン選択ボタン

CH1～CH4のブースリモコンのチャンネルを指定します。

㊶4倍速ボタン

4倍速で教材を生徒側に録音することができます。
（4倍速ＭＴＲ、ＢＴＲ使用時）

㊷ブースリモコンテープ走行ボタン

〔○録音、◀◀ 巻戻し、■停止、 ▶ 再生ボタン〕

㊸ストップ・フリーボタン

ブーステープレコーダーを停止して生徒側で操作ができるようにします。

㊹自動録音ボタン

ブーステープレコーダーのカセットテープを巻き戻したあと、マスターテープレコーダーを再生し、ブースへ教材の録音を行います。

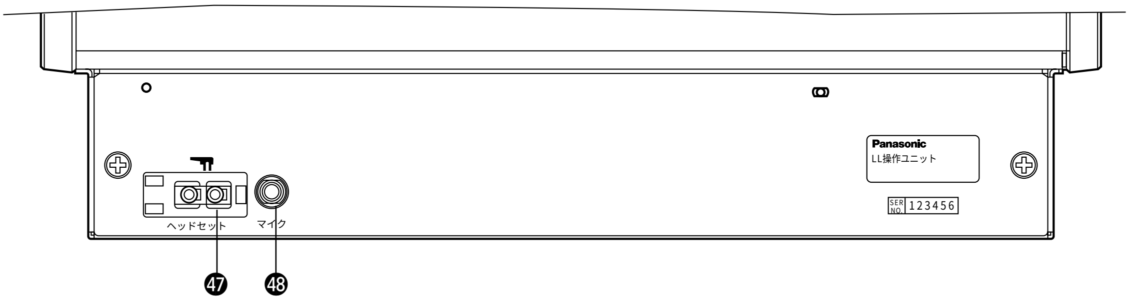
㊺マイクオフボタン

生徒のヘッドセットマイクのＯＮ／OFF を行います。

㊻イジェクトロックボタン

ブーステープレコーダーのカセットを生徒が取り出せないようにします。
（対応ＢＴＲのみ可能です。6ページの"テープレコーダー機能表"参照）

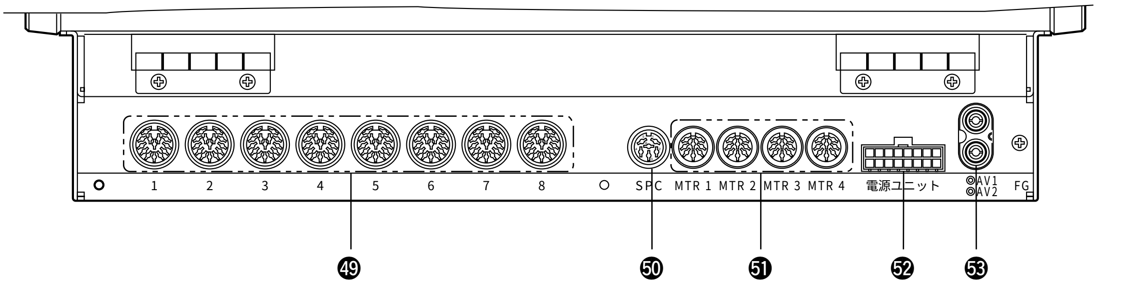
●前面



㊼ヘッドセットジャック〔ヘッドセット〕
ヘッドセットを接続します。
表示の方向 ℸ にジャックを差し込んでください。

㊽マイクジャック〔マイク〕
外部マイクを接続します。

●後面



㊾ブース幹線ケーブル接続コネクター
〔BTRライン1〜8〕

㊿SPCコネクター〔SPC〕
スピードコントロールユニット組み込み時に
MTR1のMTR/SPCケーブルを接続します。

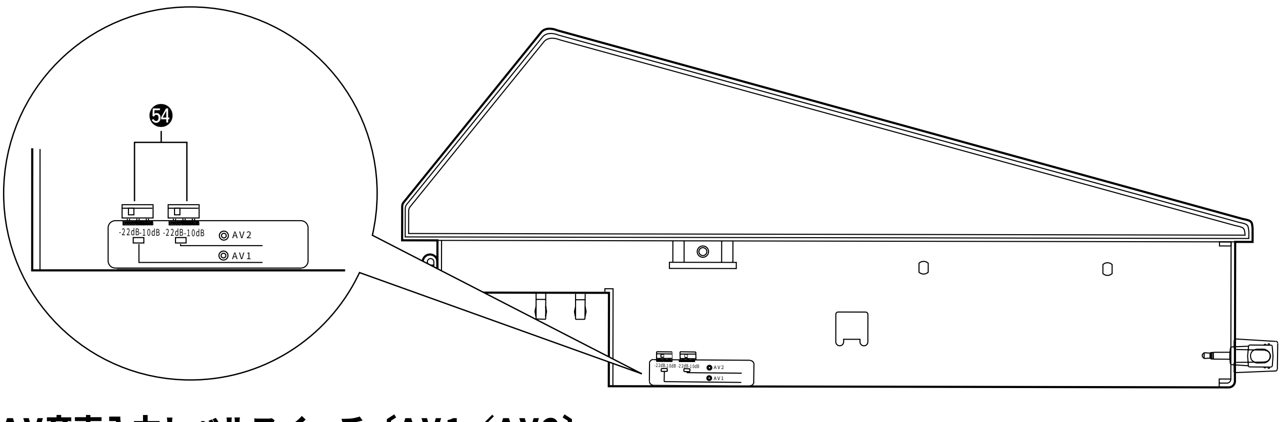
51マスターテープレコーダー接続コネクター
〔MTR1／MTR2／MTR3／MTR4〕

52電源入力コネクター〔電源ユニットから〕

53AV音声入力コネクター〔AV1／AV2〕
MTR3、4の音声にミキシングされます。

54スピードコントロールつまみ〔オプション〕
−30%から＋15%までMTR1の再生速度を変えます。
（注）通常は0にしておいてください。

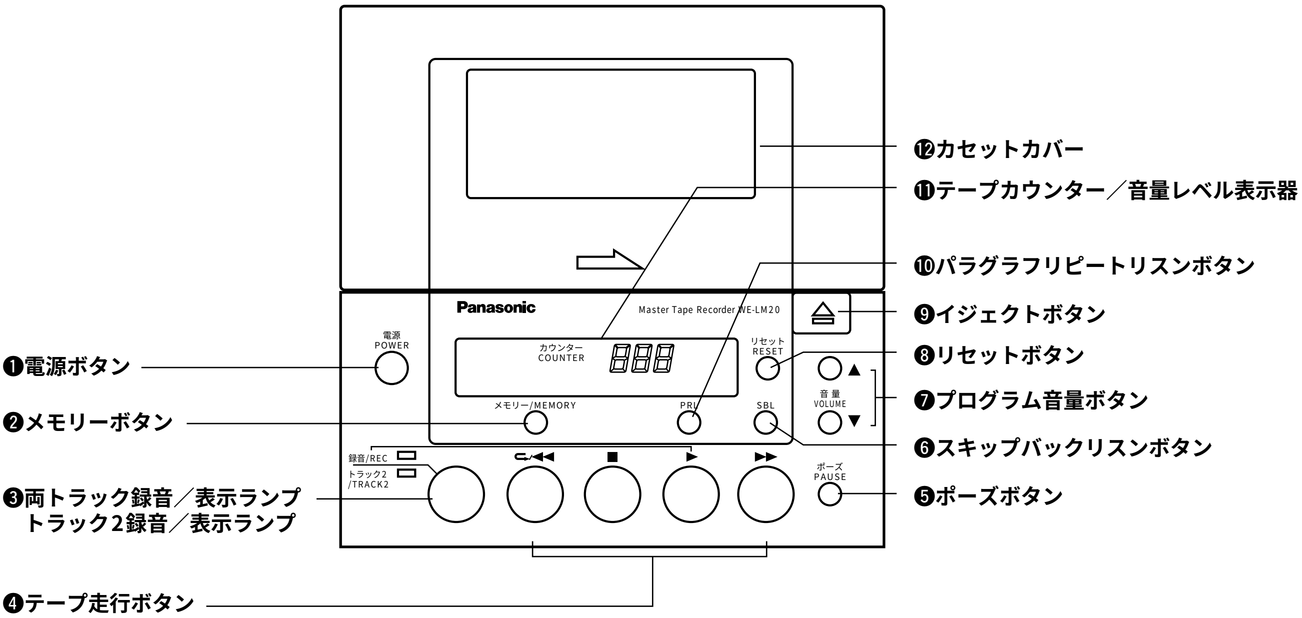
●側面



54AV音声入力レベルスイッチ〔AV1／AV2〕
接続する機器の音声出力レベルによって切り換えてください。

各部の名前と働き

■マスターテープレコーダーWE-LM20



❶電源ボタン〔電源／POWER〕

- LL操作ユニットの電源ボタンを「ON」にすると、本機の電源も自動的に「ON」になります。
- LL操作ユニットの電源が「ON」になると、このボタンで「OFF」にできません。

❷メモリーボタン〔メモリー／MEMORY〕

- ボタンを押すと、テープカウンター値が記憶されます。再度押すと解除されます。
- メモリーボタンが点灯しているとき、巻戻しボタン［⤻／◀◀］❹を押すと、テープカウンター値に、あらかじめ記憶された位置で停止します。

❸両トラック録音ボタン〔録音／REC〕／表示ランプ
トラック2 録音ボタン〔トラック2／TRACK2〕／表示ランプ

（PROGRAM EDIT時）
- 再生ボタン〔▶〕と同時に押したときは、両トラック録音となります。
- このボタンだけ押すと、トラック2に録音されます。
- WE―LL200シリーズでは、トラック2 録音はLL操作ユニットからコントロールしていません。

❹テープ走行ボタン〔⤻／◀◀，■，▶，▶▶〕

❺ポーズボタン

一時停止します。

❻スキップバックリスンボタン〔SBL〕

センテンスの途中または終わったあとにこのボタンを押すとセンテンス終了後、自動的にセンテンスの頭に戻り、繰り返し再生します。再度、このボタンを押すか、10回再生すると、自動的にもとの状態に戻ります。

※詳細はマスターテープレコーダーの取扱説明書をご参照ください。SBLの繰り返し回数は初回の再生を含みます。

❼プログラム音量ボタン〔▼−音量−▲／▼−VOLUME−▲〕

- 8 段階に音量切り換えができます。
（電源投入時は標準 L-4 です）

❽リセットボタン〔リセット／RESET〕

押すとテープカウンター⑪がリセットされます。

❾イジェクトボタン〔⏏〕

カセットテープを出し入れする時に押します。

❿パラグラフリピートリスンボタン〔PRL〕

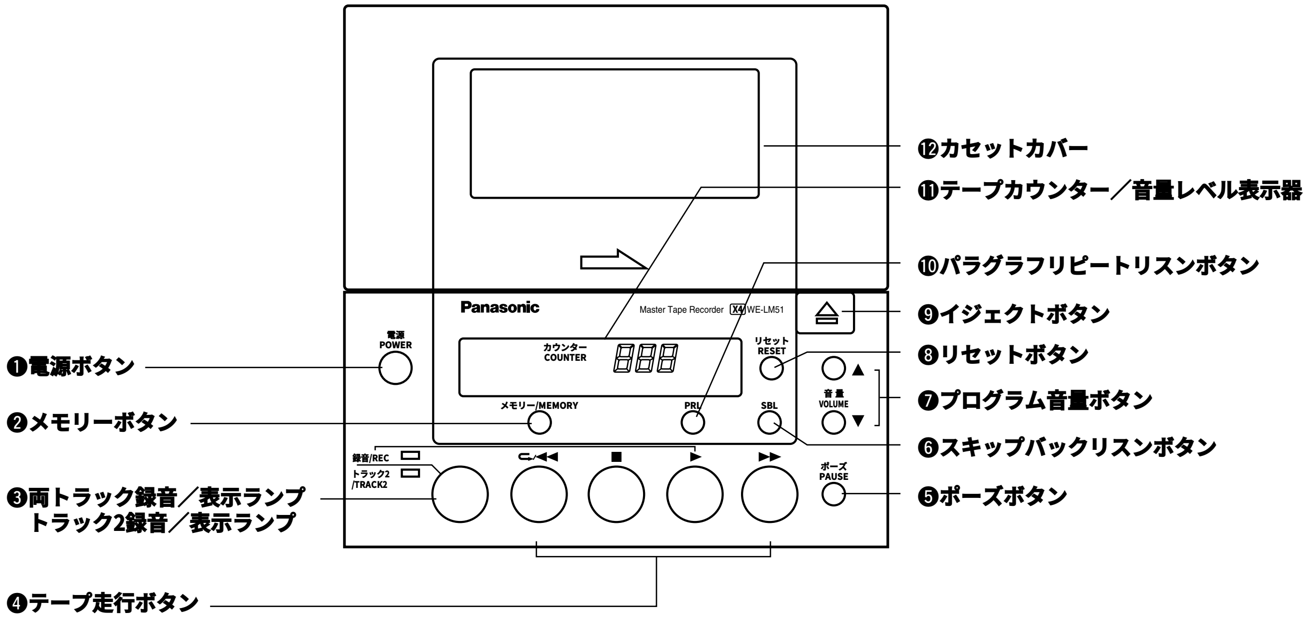
※詳細はマスターテープレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

⓫テープカウンター／音量レベル表示器
〔カウンター／COUNTER〕

テープ位置と音量レベルを表示します。
通常はテープ位置を表示し、プログラム音量ボタン❼を押したときは、約3 秒間音量レベルを表示します。
［テープカウンター／TAPE COUNTER］
" 000 "　：テープ位置
" L-4 "　：音量レベル

⓬カセットカバー

■マスターテープレコーダーWE-LM51



❶電源ボタン〔電源／POWER〕

- LL操作ユニットの電源ボタンを「ON」にすると、本機の電源も自動的に「ON」になります。
- LL操作ユニットの電源が「ON」になると、このボタンで「OFF」にできません。

❷メモリーボタン〔メモリー／MEMORY〕

- ボタンを押すと、テープカウンター値が記憶されます。再度押すと解除されます。
- メモリーボタンが点灯しているとき、巻戻しボタン［ ⮎／◀◀］❹を押すと、テープカウンター値に、あらかじめ記憶された位置で停止します。

❸両トラック録音ボタン〔録音／REC〕／表示ランプ
トラック2 録音ボタン〔トラック2／TRACK2〕／表示ランプ

（PROGRAM EDIT時）

- 再生ボタン〔▶〕と同時に押したときは、両トラック録音となります。
- このボタンだけ押すと、トラック2に録音されます。

❹テープ走行ボタン〔 ⮎／◀◀，■，▶，▶▶〕

❺ポーズボタン

一時停止します。

❻スキップバックリスンボタン〔SBL〕

センテンスの途中または終わったあとにこのボタンを押すとセンテンス終了後、自動的にセンテンスの頭に戻り、繰り返し再生します。再度、このボタンを押すか、10回再生すると、自動的にもとの状態に戻ります。

※詳細はマスターテープレコーダーWE-LM51の取扱説明書をご参照ください。

❼プログラム音量ボタン
〔▼ー音量ー▲／▼ーVOLUMEー▲〕

- 8 段階に音量切り換えができます。
（電源投入時は標準 L-4 です。）

❽リセットボタン〔リセット／RESET 〕

押すとテープカウンター⓫がリセットされます。

❾イジェクトボタン〔 ⏏ 〕

カセットテープを出し入れするときに押します。

❿パラグラフリピートリスンボタン〔PRL〕

※詳細はマスターテープレコーダーWE-LM51の取扱説明書をご参照ください。

⓫テープカウンター／音量レベル表示器
〔カウンター／COUNTER〕

テープ位置と音量レベルを表示します。
通常はテープ位置を表示し、プログラム音量ボタン❼を押したときは、約3 秒間音量レベルを表示します。

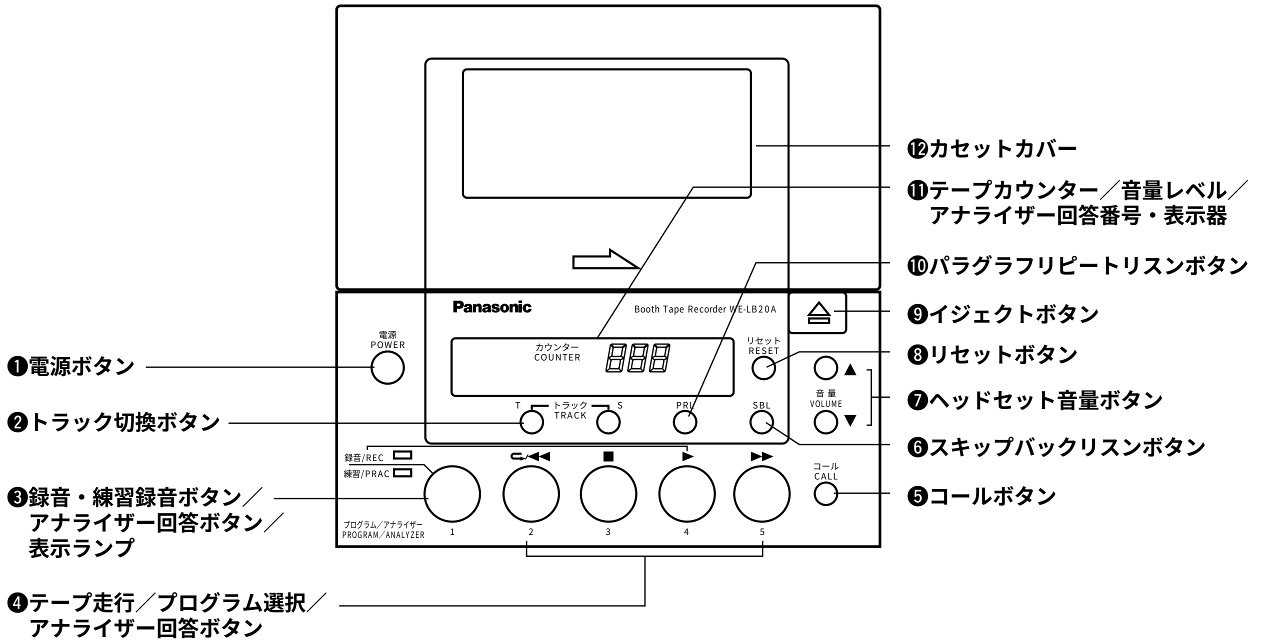
［テープカウンター／TAPE COUNTER］

" 000 " ：テープ位置
" L-4 " ：音量レベル
" -F- " ：4倍速（スタート時のみ）

⓬カセットカバー

各部の名前と働き

■ブーステープレコーダーWE-LB20A



❶電源ボタン〔電源／POWER〕

❷トラック切換ボタン〔トラック／TRACK T, S〕

● 自習モードの再生時に押すと、再生トラックが切り換わります。

T, Sボタンを同時に押す → **先生用トラック** ←T ボタンを押す
　　　　　　　　　　 → **生徒用トラック** ←S ボタンを押す

※LL操作ユニットからのリモコンで、プログラム選択が自習になっているときのみ切り換えできます。

トラック表示ランプの表示状態

両トラック再生時	"T" "S" 点灯
先生用トラック再生時	"T" 点灯
生徒用トラック再生時	"S" 点灯

● 両トラック再生にもどすときは、トラック切換ボタン［T, S］を同時に押します。

❸録音・練習録音ボタン／アナライザー回答ボタン／表示ランプ〔録音／REC，練習／PRAC，1〕

※詳細は、ブーステープレコーダーの取扱説明書をご参照ください。通常は録音・練習録音ボタンとして動作し、テープカウンター⓫が" P "のときプログラムの生徒選択ボタン " 1 " となります。WE-LL200シリーズにアナライザーの機能はありません。

❹テープ走行／プログラム選択／アナライザー回答ボタン〔 ⥲ ／◀◀，■，▶，▶▶2，3，4，5〕

通常はテープ走行ボタンとして動作し、テープカウンター⓫が" P "のときプログラムの生徒選択用ボタンとなります。WE-LL200シリーズにアナライザーの機能はありません。

❺コールボタン〔コール／CALL〕

先生を呼び出したいときに押します。
ふたたび押すとコール予約は解除され、表示ランプが消えます。

❻スキップバックリスンボタン〔SBL〕

※詳細は、ブーステープレコーダーの取扱説明書をご参照ください。SBLの繰り返し回数は初回の再生を含みます。

❼ヘッドセット音量ボタン〔▼−音量−▲／▼−VOLUME−▲〕

● ８段階に音量切り換えができます。
（電源投入時は標準 L-4 です）
● レベルは音量レベル表示器⓫に表示されます。

❽リセットボタン〔リセット／RESET〕

● 押すとテープカウンター⓫がリセットされます。

❾イジェクトボタン〔⏏〕

● カセットテープを出し入れするときに押します。

⓾パラグラフリピートリスンボタン〔PRL〕

※詳細はブーステープレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

⓫テープカウンター／音量レベル／アナライザー回答番号・表示器〔カウンター／COUNTER〕

● テープ位置、音量レベル、プログラムやアナライザー回答番号を表示します。
通常はテープ位置を表示し、ヘッドセット音量ボタン❼を押したときは、約3 秒間音量レベルを表示します。

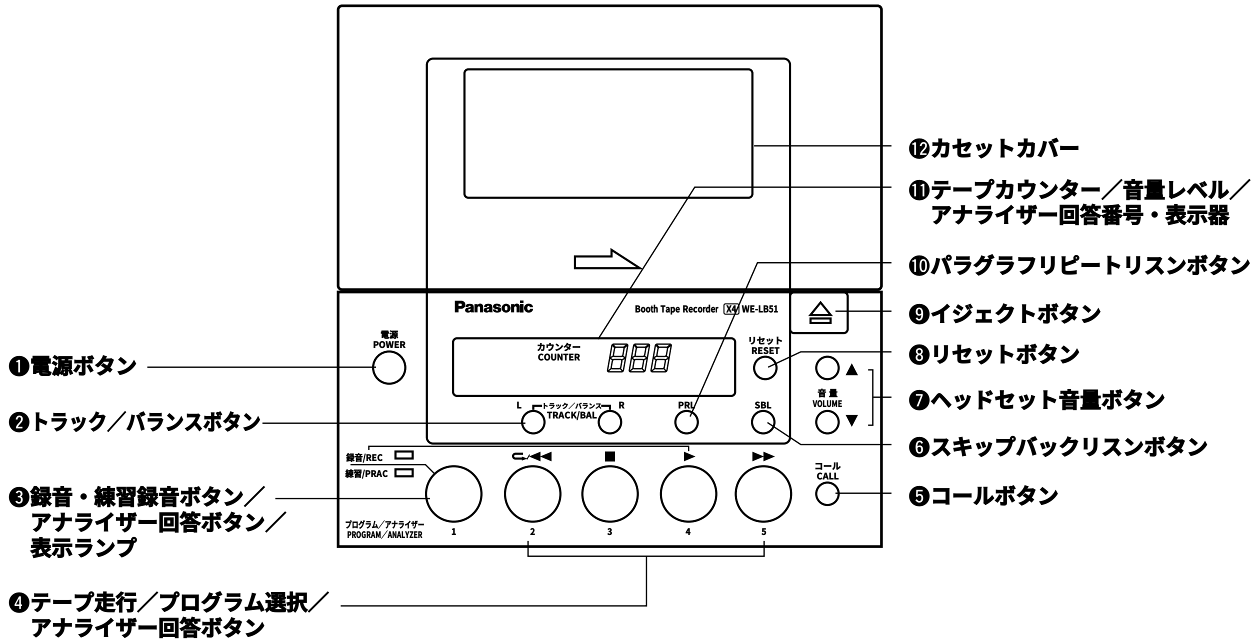
［テープカウンター／TAPE COUNTER］

" 000 "	：テープ位置
" L-4 "	：音量レベル
" P-1 "	：プログラムの生徒選択番号
" A-2 "	：アナライザーの回答番号
" = " ↑	：アナライザーの回答番号＋正答フィードバック番号

十位桁は正答フィードバック番号を表示します。

⓬カセットカバー

■ブーステープレコーダーWE-LB51



❶電源ボタン〔電源／POWER〕

❷トラック／バランスボタン〔TRACK/BAL〕

■トラック

●自習モードの再生時に押すと、再生トラックが切り換わります。

L,Rボタン　→ **先生用トラック**　←Lボタンを押す
を同時に押す　→ **生徒用トラック**　←Rボタンを押す

※LL操作ユニットからのリモコンで、プログラム選択が自習になっているときのみ切り換えできます。

トラック表示ランプの表示状態	
両トラック再生時	"L""R"点灯
先生用トラック再生時	"L"点灯
生徒用トラック再生時	"R"点灯

●両トラック再生にもどすときは、トラック／バランスボタン〔L,R〕を同時に押します。

■バランス

●ステレオやサイマル時、L,Rの音量レベルを変えることができます。

❸録音・練習録音ボタン／アナライザー回答ボタン／表示ランプ〔録音／REC，練習／PRAC, 1〕

※詳細は、ブーステープレコーダーWE-LB51の取扱説明書をご参照ください。通常は録音・練習録音ボタンとして動作し、テープカウンター⓫の百位の桁が"A"のとき、ヒアリングテストとアナライザーの回答器の番号1、"P"のときプログラムの生徒選択ボタン"1"となります。

❹テープ走行／プログラム選択／アナライザー回答ボタン〔⤺／◀◀,■,▶,▶▶, 2, 3, 4, 5〕

通常はテープ走行ボタンとして動作し、テープカウンター⓫の百位の桁が、"A"のときヒアリングテストとアナライザーの回答器、"P"のときプログラムの生徒選択用ボタンとなります。

❺コールボタン〔コール／CALL〕

先生を呼び出したいときに押します。
ふたたび押すとコール予約は解除され、表示ランプが消えます。

❻スキップバックリスンボタン〔SBL〕

※詳細は、ブーステープレコーダーWE-LB51の取扱説明書をご参照ください。

❼ヘッドセット音量ボタン〔▼－音量－▲／▼－VOLUME－▲〕

●８段階に音量切り換えができます。
（電源投入時は標準L-4です）

●レベルは音量レベル表示器⓫に表示されます。

❽リセットボタン〔リセット／RESET〕

●押すとテープカウンター⓫がリセットされます。

❾イジェクトボタン〔⏏〕

●カセットテープを出し入れするときに押します。

※マスター卓でロックされている場合は、イジェクトできません。

❿パラグラフリピートリスンボタン〔PRL〕

※詳細はテープレコーダーの操作⑥をご参照ください。

各部の名前と働き

⓫テープカウンター／音量レベル／アナライザー回答番号・表示器〔カウンター／COUNTER〕

- 通常はテープ位置を表示します。
- ヘッドセット音量ボタン❼を押すと、約3 秒間音量レベルを表示します。
- アナライザーパネルを操作しているときはプログラムやアナライザー回答番号を表示します。

〔テープカウンター/TAPE COUNTER〕

"000"：テープ位置
"L-4"：音量レベル
"P-1"：プログラムの生徒選択番号
"A-2"：アナライザーの回答番号
"1-2"：アナライザーの回答番号＋正答フィードバック番号
百位桁は正答フィードバック番号を表示します。
"644"：バランスレベル

⓬カセットカバー

機能の概要

■AAC授業

教材を聞きながら、聞き取り練習、発声練習（オーラル・オーラル学習）を行います。
4つの教材を同時に使い、授業ができます。
また、生徒をCH1〜CH4に分け、それぞれ異なった教材で授業をすることができます。

●使用チャンネル

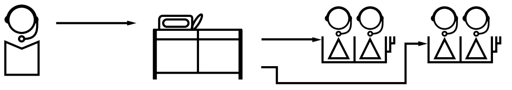
エキスパート設定により、設定されます。

- **CH1一斉**
  CH1を通して、4つの教材を選択して流します。
- **複数チャンネル**

CH1:MTR1/V1
CH2:MTR2/V2
CH3:AV1/MTR3
CH4:AV2/MTR4
に固定されます。

●オールコール（39ページ参照）

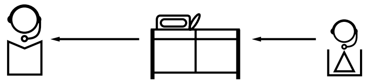
先生がマイクを用い、生徒のヘッドホン、ルームスピーカーを通じすべての生徒に対して呼びかけを行います。



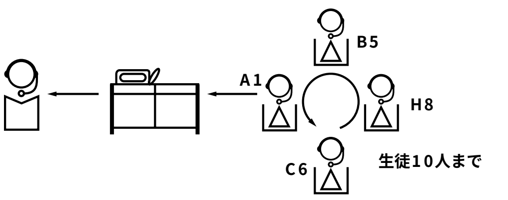
●モニター

先生が生徒の音声を、ヘッドホンを通じて一方的に聞くことができます。

- **個別モニター（40ページ参照）**
  各生徒をモニターします。



- **オートモニター（41, 42ページ参照）**
  1人の生徒を10秒（標準）ごとにモニターします。
- **グループモニター（43, 44ページ参照）**
  最大10人の生徒を選択し、各生徒を順番に10秒ずつ（標準）モニターしていきます。

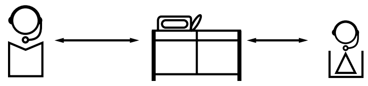


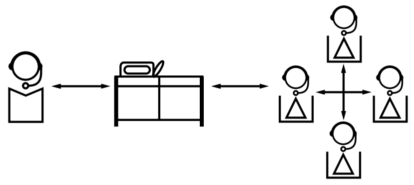
10秒ずつモニターします。

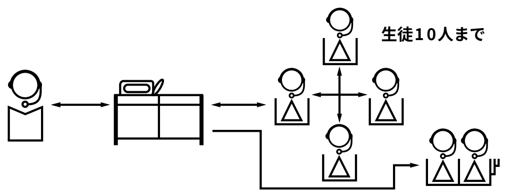
●教材割当（52, 53ページ参照）

〔エキスパート設定が複数チャンネルのとき有効〕
生徒は学習する教材によって、CH1〜CH4のいずれかを用いることができます。
チャンネルの設定は、次のようにして行います。

- **全員**
  すべての生徒をCH1〜CH4、自習に設定します。
- **列**
  列ごとにCH1〜CH4、自習を設定します。
- **個別**
  各生徒ごとにCH1〜CH4、自習を設定します。
- **生徒選択**
  CH1〜CH4の選択を生徒自身で行うことができます。




生徒10人まで



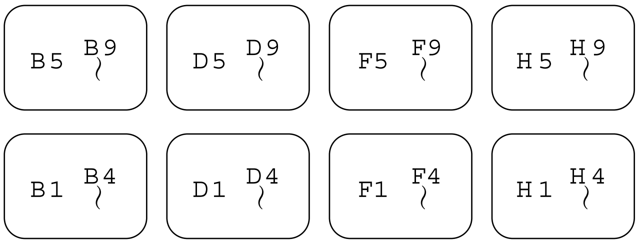
同じチャンネル番号の生徒

機能の概要

■会話練習

会話学習を行う授業です。会話の枠内での2人ずつの組み合わせ、4人ずつの組み合わせを設定できます。また、会話の枠の中であれば、自由に組み合わせを設定できます。枠内は4グループまで組めます。そのためペアの時10人枠では後4人が1組となります。

会話の枠



●ペア（55ページ参照）

前後または、左右に隣あった2人の生徒間で会話の練習をします。

●フリーペア（55ページ参照）

会話の枠内において、ランダムな組み合わせのペアを自動的に作成します。

●グループ（55ページ参照）

前後左右に隣あった生徒間で会話の練習をします。

●マニュアルセット（56ページ参照）

一度作った会話の組を手動で組み換えます。

■LL操作ユニットの制御

●スピーカーオン／オフ（9ページ参照）

モニタースピーカー、ルームスピーカーのオン／オフを行います。

●音量コントロール（9ページ参照）

ルームスピーカー、モニタースピーカー（ヘッドセット）、マイクの音量を調節します。

●スピードコントロール（11ページ参照）

〔スピードコントロールユニットWU-SPC20およびMTR1にマスターテープレコーダWE-LM51が別途必要〕

マスターテープレコーダー1の速度を－30％～＋15％まで変化させます。

■マスターテープレコーダーの制御 （57〜60ページ参照）

●パワーホールド（自動）

ＭＴＲ1~4の電源は、ＬＬ操作ユニットの電源と連動します。また、ＬＬ操作ユニット電源オン中のマスターテープレコーダーの電源オフは禁止されます。

●カウンター表示

ＭＴＲのカウンター値を表示します。

●カウンターリセット

カウンター値をリセットします。

●メモリーサーチ

カウンター登録した値を検索します。

●ポーズコントロール

教材音声の区切りを検出して、自動的に練習用ポーズを入れることができます。検出する区切りの時間と練習用ポーズ時間の設定ができます。
また、再生方法を設定できます。

●センテンスポーズ（SP）

ひとつの文章を聞かせた後、練習用ポーズを入れます。

オリジナル教材

I am a boy.（ポーズ1）You are a girl.　（ポーズ2）We are students.

⬇

マスターテープレコーダーの動作

再生	一時停止	再生
I am a boy.	（一時停止時間）	（ポーズ1）You are a girl.

↑
（“ I am a boy. ”の再生時間）×（設定した練習倍率1.0〜2.0）

⬇

生徒への送出

I am a boy.　（練習時間）　You are a girl.

↑
（“I am a boy. ”の再生時間）×（設定した練習倍率1.0〜2.0）
＋（ポーズ1の時間）

機能の概要

●センテンスセンテンスポーズ（SSP）

ひとつの文章を2回繰り返して聞いた後、練習用ポーズを入れます。

オリジナル教材

I am a boy.（ポーズ1）You are a girl.（ポーズ2）We are students.

↓

マスターテープレコーダーの動作

再生	巻戻し	再生	一時停止	再生
I am a boy.	→	I am a boy.	（一時停止時間）	（ポーズ1）You are a girl.

（“ I am a boy. ”の再生時間）×（設定した練習倍率1.0～2.0）

↓

生徒への送出

I am a boy.　I am a boy.　（練習時間）　You are a girl.

（“I am a boy. ”の再生時間）×（設定した練習倍率1.0～2.0）
＋（ポーズ1の時間）

●センテンスポーズセンテンスポーズ（SPSP）

ひとつの文章を聞いた後、練習用ポーズを入れます。これを2回繰り返します。

オリジナル教材

I am a boy.（ポーズ1）You are a girl.（ポーズ2）We are students.

↓

マスターテープレコーダーの動作

再生	一時停止	巻戻し	再生	一時停止	再生
I am a boy.	（一時停止時間）	→	I am a boy.	（一時停止時間）	（ポーズ1）You are

（“ I am a boy. ”の再生時間）×（練習倍率1.0～2.0）

↓

生徒への送出

I am a boy.　（練習時間）　I am a boy.　（練習時間）　You are

（“I am a boy. ”の再生時間）×（設定した練習倍率1.0～2.0）
＋（巻き戻し時間）

（“I am a boy. ”の再生時間）×（設定した練習倍率1.0～2.0）
＋（ポーズ1の時間）

●センテンスセンテンスポーズセンテンス（SSPS）

ひとつの文章を2回繰り返して聞いた後、練習用ポーズを入れ、もう一度文章を聞きます。

オリジナル教材

I am a boy.（ポーズ1）You are a girl.（ポーズ2）We are students.

マスターテープレコーダーの動作

再生	巻戻し	再生	一時停止	巻戻し	再生
I am a boy.		I am a boy.	（一時停止時間）		I am a boy.（ポーズ1）You

（“ I am a boy. ”の再生時間）×（練習倍率1.0〜2.0）

生徒への送出

I am a boy.　I am a boy.　（練習時間）　I am a boy.（ポーズ1）You

（“I am a boy. ”の再生時間）×（設定した練習倍率1.0〜2.0）
＋（巻き戻し時間）

●ポーズ時間が短い場合

設定したポーズ時間より実際のポーズ時間が短い場合は、文章の区切りが検出されません。

オリジナル教材

I am a boy.（ポーズ1）You are a girl.（ポーズ2）We are students.

ポーズ時間設定より短い

マスターテープレコーダーの動作

再生	一時停止	再生
I am a boy.（ポーズ1）You are a girl.	（一時停止時間）	（ポーズ2）We

ポーズが検出されない　（“I am a boy.（ポーズ1）You are a girl. ”の再生時間）×（練習倍率1.0〜2.0）

生徒への送出

I am a boy.（ポーズ1）You are a girl.　（練習時間）　We

（“I am a boy.（ポーズ1）You are a girl. ”の再生時間）×（練習倍率1.0〜2.0）
＋（ポーズ2の時間）

機能の概要

■ブーステープレコーダーの制御 （61～64ページ参照）

ブーステープレコーダーのリモコンができます。先生側からリモコンを行っている間は、生徒側でのブーステープレコーダーの操作はできません。

●録音

先生側から録音のリモコンを行います。録音中はイジェクトロック対応ＢＴＲのときは、自動的にカセットイジェクトロックを行います。

●4倍速録音（MTR、BTR共に4倍速対応機種のとき）

マスターテープレコーダーを4倍速再生、ブーステープレコーダーを4倍速録音状態にします。4倍速のボタンを押してランプが点灯してから録音ボタンを押します。

●巻き戻し

先生側から巻き戻しを行います。巻き戻しが終了するとブーステープレコーダーは、自動的に停止します。

●停止

先生側から停止を行います。

●ストップ・フリー

ブーステープレコーダーを停止して、生徒側でブーステープレコーダーの操作ができます。

●自動録音

ブースのカセットテープを最初まで巻き戻してから録音状態にし、リーダーテープ分待った後マスターテープレコーダーを再生するまでを自動的に行います。

●再生

先生側から再生を行います。

●4倍速自動録音（MTR、BTR共に4倍速対応機種のとき）

自動録音を4倍速で行います。4倍速ボタンを押してランプが点灯してから、自動録音ボタンを押します。

●マイクオフ

ブースのマイクロホンをオフすることができます。これにより、教材録音時などマイクロホンから入れる周囲雑音を防ぐことができます。

●カセットイジェクトロック（BTRが対応機種のとき）

生徒が勝手にカセットを取り出せないように、イジェクトを禁止することができます。

●生徒状態表示

ブーステープレコーダーの動作状態を確認できます。

●パワーホールド（自動）

ブースの電源が一旦入れられると、それ以降はブースで生徒による手動の電源オフを禁止します。

●ブーステープレコーダー電源オフ

ＬＬ操作ユニット側でクリアーボタンを押しながら、電源を切る生徒の生徒モニターボタンを押します。指定した生徒のブーステープレコーダーの電源が切れます。

ご注意

ヘッドセットに他のブーステープレコーダーの早送り、巻き戻しの音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

■４倍速録音中の教材送出（34, 35ページ参照）

ＭＴＲ１またはＭＴＲ２の教材を4倍速で録音しながら、他の教材機器の教材を生徒に聞かせることができます。
（4倍速録音中の教材送出に対応のマスター／ブースステープレコーダーのとき）

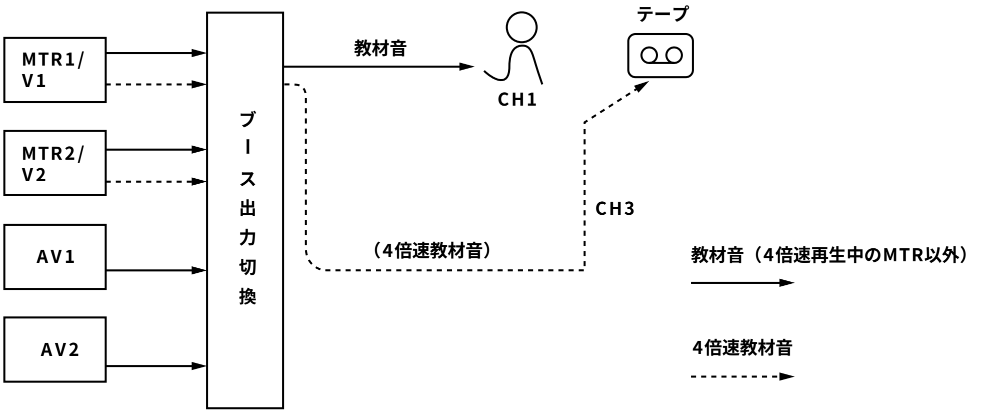
ご注意

エキスパート設定で、使用チャンネル「CH1のみ」になっていることを確認してください。

●4倍速（自動）録音時に教材送出可能な場合

● CH1一斉授業

4倍速教材音は、CH3から流します。
通常速教材音は、CH1から流します。



■教材編集

授業形態に応じた教材を作成します。

●モニター録音（67ページ参照）

- ブースに出力され、先生がモニターしている教材を録音します。
- コミュニケーション時には先生が聞いている音声（学習状況やモデル対象生徒の音声）を録音します。

●コピー（69ページ参照）

ＭＴＲ１からＭＴＲ２へ教材をコピーします。
（このとき、ポーズコントロールがききます）
ＭＴＲ１、ＭＴＲ２共に4倍速対応機種の場合は4倍速コピーとなります（4倍速コピーでは、ポーズコントロールができません）

■教材系統切換

生徒側、先生モニターに送出する教材を選択します。

●ブース出力（70ページ参照）

生徒に送出する機器を選択します。

●先生モニター（65ページ参照）

先生がモニターする機器を選択します。

●マイクミックス（66ページ参照）

先生側に送出され、先生がモニターしている教材音に先生の声をミキシングして聞かせます。

機能の概要

■レッスンパターン

（72〜74ページ参照）

授業パターンを電源オンから32ステップ分、順番に記憶ができ、ワンタッチで再現できます。
また、拡張機能設定の変更も、授業途中で行えます。レッスンパターンであらかじめ登録されている内容は、つぎの通りです。

レッスンパターン １：　一斉ヒアリング
２：　自動録音
３：　モデル授業
４：　ペアレッスン
５：　ブース単独使用
６：　ＢＴＲへの教材コピー（Ｌ→Ｌ／Ｒ）
７：　ＭＴＲ１の4倍速録音時のＭＴＲ２一斉送出
８：　複数チャンネル授業

■エキスパート設定一覧表（71ページ参照）

レッスンパターンボタンごとに各機能の動作などの設定ができます。　　□は出荷時の設定です

番号	タイトル	機能	出荷設定
1	モデル練習モード	モデル練習を行うとき、同一チャンネル内の10人までのグループで行うか、個別に行うかの設定をします。	グループ（□） 個別
2	コミュニケーション復帰	インカム、モデル、グループインカム中にコール応答を行ったとき、元のコミュニケーション状態に復帰するか、クリアーするかを設定します。	復帰する（□） クリアーする
3	マスキング	個別インカムなどのときに再生または練習録音中のブーステープレコーダーを一旦停止させるかさせないかを設定します。（会話レッスン、グループインカム時およびモデル生徒は停止したままになります）	停止させる（□） 停止させない
4	個別インカム時のチャイム音	個別インカムをする場合にインカムボタンを押した時にチャイム音を聞かせるか聞かせないかを設定します。	聞かせる（□） 聞かせない
5	マスター卓とブース電源連動	マスターの電源オンでブース電源が一斉に入るか、入らないかを設定します。	入る 入らない（□）
6	ブース電源オフ指示	ブース電源を先生側から自由に切れるか、切れないかを設定します。	切れる（□） 切れない
7	ブース単独使用（制御不可）	ブーステープレコーダーをＬＬ操作ユニットから制御して通常のＬＬシステムとして使用するか、制御しないで単独で使用するかを設定します。 ブース単独使用するに設定した場合は、教材の送出、コミュニケーション等はできません。	する しない（□）
8	ペア・グループの組みかた	会話練習をするとき、相手の学習者が欠席や遅刻した場合、その学習者を自動的に他の組みに入れる（自動組み換え）、先生が選択する（手動組み換え）のどちらかを設定します。	自動組み換え（□） 手動組み換え
9	ペアの組みかた	ペアレッスンで座席が左右のペア（横ペア）で練習させるか、前後のペア（縦ペア）で練習させるかを設定します。	横ペア（□） 縦ペア
10	スキャン方向	オートモニター時のスキャン方向を縦方向／横方向のどちらかに設定します。	縦方向（□） 横方向
11	電源オン後のオールコール	電源オン後にオールコールを行うか、行わないかの設定をします。	行う（□） 行わない
12	遅刻者の授業への参加	遅刻した学習者を自動的にCH1/2に組み入れるか、参加させない（自習）かを設定します。	CH1に組み入れる（□） CH2に組み入れる 参加させない
13	スキャン時間	オート／グループモニター時のスキャン時間を5秒／10秒／15秒のいずれかに設定します。	5秒 10秒（□） 15秒
14	モニター／インカム時のルームスピーカー	学習者をモニター／インカムしたときに、ルームスピーカーの音が切れるか、切れないかを設定します。	切れる 切れない（□）
15	自動イジェクト	教材録音中にテープエンドとなったブーステープレコーダーのイジェクトロックを解除するかしないかを設定します。（ＷＥ-LB51のみ対応）	イジェクトする（□） イジェクトしない
16	教材録音時のマイクオフ	ブースリモコンでの教材録音時に、自動的にマイクオフにするかしないかを設定します。（4倍速録音中は無効）	オフにする オフにしない（□）
17	学習者手動録音禁止	学習者側の手動での録音を禁止するかしないかを設定します。（練習録音は禁止しません）	禁止する 禁止しない（□）
18	使用チャンネル	授業で使うチャネルをチャンネル1のみか、複数チャンネルかを設定します。	CH1のみ（□） 複数ＣＨ
19	ブース録音（CH1のみ）	ブースリモコンによる録音・自動録音時にブーステープレコーダーに録音される音声がL chのみかL／R chかを設定します。	L→L／R L→L（□）

操作索引図

□のP．は参照ページをあらわします。

- 電源投入 P.28～29
- エキスパート設定 P.73
- レッスンパターン P.72～74
- スピーカーオン／オフ P.9
- ブース出力 P.70
- AAC授業 P.17
  - 教材割当 P.52～53
    - 全員 P.52～53
    - 列 P.52～53
    - 個別 P.52～53
    - 生徒選択 P.52～53
- ペア P.54
- グループ P.55
- フリーペア P.55
  - （ペア・グループ・フリーペア）→ マニュアルセット P.56
- 教材編集 P.69
  - ポーズコントロール P.57
  - （４倍速）コピー P.69
- オールコール P.39
- 個別モニター P.40
  - グループモニター P.43～44
  - オートモニター P.41～42
  - グループインカム P.46～47
  - モデル P.48～49
- グループモニター P.43～44
- オートモニター P.41～42
- 個別インカム P.45
  - グループインカム P.46～47
  - モデル P.48～49
  - 個別リモコン P.61～64
- グループインカム P.46～47
- モデル P.48～49
- コールレスポンス P.50
- コール要求禁止 P.51
- MTRオートサーチ P.60
- ブースリモコン P.61～64
- ポーズコントロール P.57
- 先生モニター P.65
- マイクミックス P.66
- 電源オフ P.37

（2）会話練習（ペア／グループ／フリーペア）
（1）AAC授業

ページ	名称	機能概要	(1)	(2)
28~	スピーカーオン／オフ	スピーカーから流す音声のオン／オフをします	○	○
39	オールコール	先生から生徒全員に呼びかけます。	○	○
40	個別モニター	生徒一人（会話練習中は、ペアまたは、グループの組みの生徒も含む）の学習状況をモニターします	○	○
41~	オートモニター	設定したスキャン時間で生徒を順次モニターします	○	○ ＊2
43~	グループモニター	10人までの生徒を選んで、設定したスキャン時間で順次、学習状況をモニターします	○	○ ＊2
45	個別インカム	生徒一人（会話練習中は、ペアまたは、グループ）と先生とで会話ができます。	○	○ ＊2
46~	グループインカム	10人までの生徒と先生とで会話ができます	＊2 ＊3	○ ＊2
48~	モデル	10人までの生徒と先生との会話を同じ教材を学習している生徒全員に聞かせます	○	○
50	コールレスポンス	生徒がコールを要求した順に先生と会話ができます	○	○
52~	教材割当	学習する教材によって生徒にCH1～CH4を割り当てます	複数CHで可能	×
56	マニュアルセット	会話練習中に会話の組を変更します	×	○
57	ポーズコントロール	MTR1～4教材に練習時間を設けて生徒に聞かせます	○	× ＊1
60	オートサーチ	1つのMTRについて5点までカウンターの値を記録し頭出しをします	○	○
61~	ブースリモコン	ブーステープレコーダーのリモコンをします	○	全CH
65	先生モニター	教材音のモニターができます	○	○
66	マイクミックス	教材音に先生の声をミキシングして生徒に聞かせます	○	× ＊1
70	ブース出力	生徒に流す教材を指定します	○	× ＊1
72~	レッスンパターン	32手順で1手順最大2分までの操作手順を記録し、再現します（8つまで登録可能）	○	○

＊1：指定はできますが、生徒側で教材を聞くことはできません
＊2：自習の生徒は×
＊3：教材割当でCH1～CH4全てを生徒に割り当てていないこと

授業を始める前に

1　ブレーカーを入れます。

教室内のブレーカーを回線別に入れていきます。

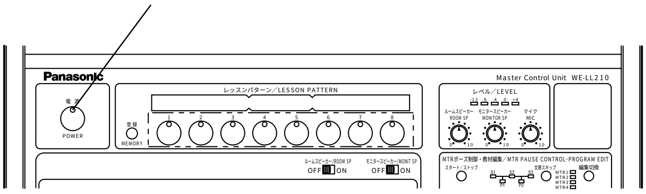
2　LL操作ユニットの電源を入れます。

①電源ボタンを押します。電源表示ランプがつき、ＬＬ本体の電源が入ります。
また、ＭＴＲ１～ＭＴＲ４の電源も連動して入ります。
（ＬＬ本体電源が入っているときは、ＭＴＲ電源は、手動では切ることができません。）

②自動的にオールコール状態となり、出席表示をします。先生モニターとブース出力はＭＴＲ１の状態になります。

ご注意

- **ブレーカーは主幹のブレーカーで一斉にオンにしないでください。**
- **電源ユニットの電源スイッチはあらかじめオンにしておいてください。**



3　教材を用意します。

使用する教材をセットします。

4　ヘッドセットの準備をします。

①ヘッドセットを使用するときは、ヘッドセットジャックにヘッドセットが接続されていることを確認してください。

②外部マイクを使用するときは、マイクがマイクジャックに接続されていることを確認してください。

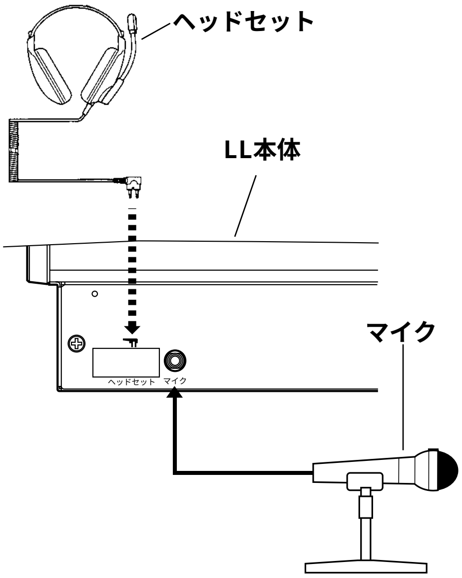
⬇

外部マイクが接続されているときは、ヘッドセットのマイクからの音声は切れます。

モニタースピーカー使用時はモニタースピーカースイッチが“ＯＮ”になっていることを確認してください。

⬇

モニタースピーカーの音量をあまり上げすぎると、ハウリングを起こすことがあります。また、マイクをスピーカーに近づけないでください。



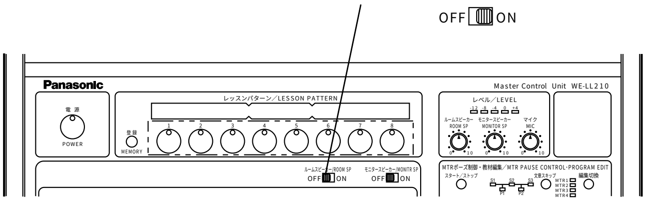
5 ルームスピーカーから全員に指示します。

マイクで機器の操作や、授業内容などを話しかけます。

⬇

ルームスピーカーから先生の声が流れ、生徒全員に指示することができます。ルームスピーカースイッチが“ON”になっていることを確認してください。

ルームスピーカースイッチ



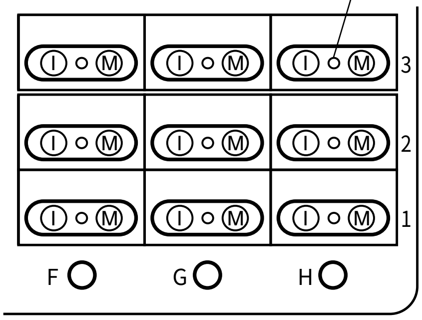
6 出席をとります。

ブーステープレコーダーの電源を入れるように、生徒に呼びかけます。

⬇

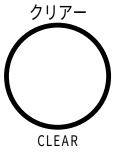
電源を入れた生徒の座席の出席表示ランプがつきます。

出席表示ランプ



7 出席を締め切ります。

出席している生徒の出席表示ランプがついたことを確認してから、クリアーボタンを押します。



⬇

オールコールがクリアーされます。

準備完了です

ご注意

- P30～P39の説明は、エキスパート設定で、次のような設定となっている場合です。
  - ・電源オン後のオールコール：行う
  - ・使用チャンネル：CH1のみ（一斉授業）
  - ・マスキング：停止させる
  - ・遅刻者の授業への参加：参加させる
  - ・ブース単独使用（制御不可）：しない

基本的な授業（一斉授業の場合）

■ＭＴＲ１の教材を生徒に送出しながら授業をする場合

準備完了より （29ページ参照）

⬇

1 生徒にマスターテープレコーダー1から教材テープを聞かせます。

①オールコール中の場合は、クリアーボタンを押してオールコールをクリアーします。

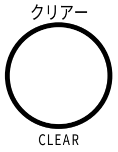
②ブース出力のＭＴＲ１／Ｖ１が選択されていることを確認し、送出したい教材の入ったマスターテープレコーダー1を再生にします。

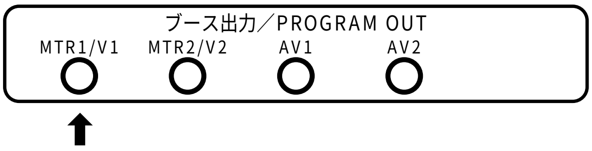
⬇

一斉に同じ教材が流れます。

③教材音をモニターします。

電源立ち上げで自動的にＭＴＲ１モニターとなっていますので、特に操作は必要ありません。



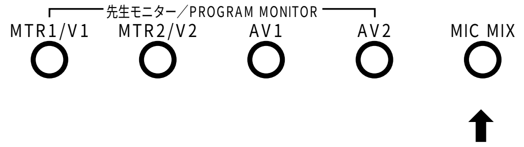


2 教材音に先生の声をミキシングします。

①ＭＩＣ ＭＩＸボタンを押します。

先生の声を模範教材とするときや、教材音を切らずに、生徒に指示を与える場合に実施します。

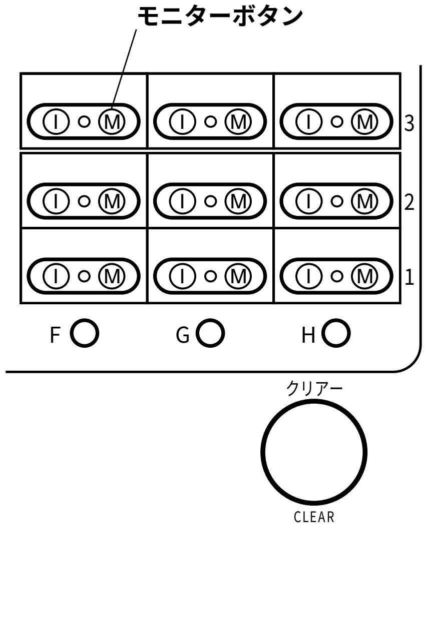
②ＭＩＣ ＭＩＸボタンを再度押して先生の声のミキシングを終了します。



3 生徒の学習状況をモニターします。

①学習状況をモニターしたい生徒のモニターボタンを押して、個別モニターにします。

②つぎにモニターしたい生徒のモニターボタンを押すことにより、その生徒の個別モニターになります。



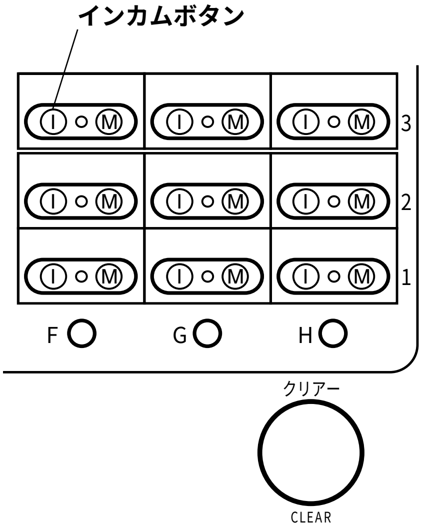
③個別モニターしている生徒のモニターボタンを押すか、クリアーボタンを押すと、個別モニターが解除されます。

4　生徒と話したいとき

①話したい生徒のインカムボタンを押し、個別インカムにします。

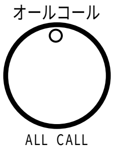
②つぎに話したい生徒のインカムボタンを押すことにより、その生徒の個別インカムになります。

③個別インカムしている生徒のインカムボタンを押すか、クリアーボタンを押すと、個別インカムが解除されます。

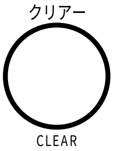


5　教材音を流さずに、生徒全員に呼びかけたいとき

①オールコールボタンを押すことにより、生徒全員に呼びかけることができます。



②クリアーボタンを押すとオールコールが解除されます。



⬇

授業終了へ （39ページ参照）

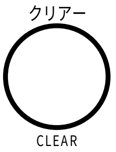
基本的な授業（一斉授業の場合）

■AV1（VTRのとき）教材の音声を生徒に送出しながら授業する場合

準備完了より　（29ページ参照）

⬇

1　生徒に教材を送出します。



①オールコール中の場合はクリアーボタンを押してオールコールをクリアーします。
②ＶＴＲに生徒へ流したい教材を入れます。
③先生モニターのＡＶ１を選択し、教材をモニターできるようにします。
④ＶＴＲの再生ボタンを押して教材を再生します。

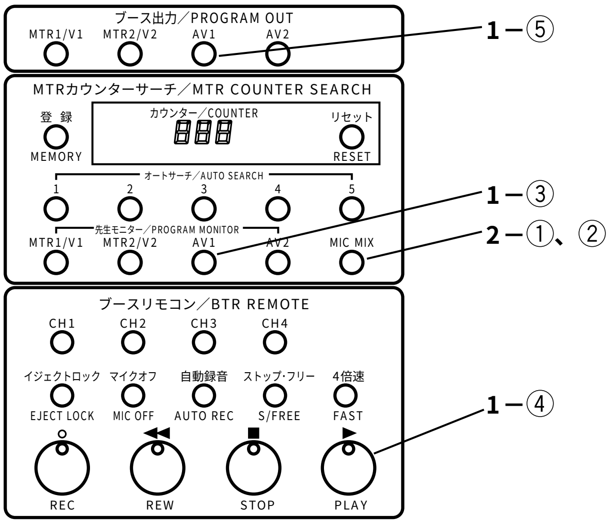
⬇

ヘッドセットで教材を確認します。

⑤ブース出力のＡＶ1を選択します。

⬇

ＶＴＲの音声が生徒に送出されます。



2　必要に応じて教材音に先生の声をミキシングします。

①ＭＩＣ ＭＩＸボタンを押します。

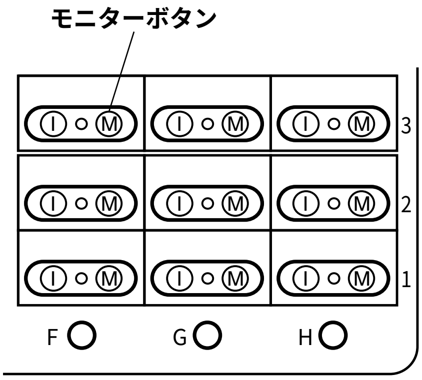
⬇

先生の声を模範教材とするときや、教材音を切らずに、生徒に指示を与える場合に実施します。

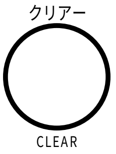
②ＭＩＣ ＭＩＸボタンを再度押して、先生の声のミキシングを終了します。

3　生徒の学習状況をモニターします。

①学習状況をモニターしたい生徒のモニターボタンを押して、個別モニターにします。
②つぎにモニターしたい生徒のモニターボタンを押すことにより、その生徒の個別モニターになります。



③個別モニターしている生徒のモニターボタンを押すか、クリアーボタンを押すと、個別モニターが解除されます。

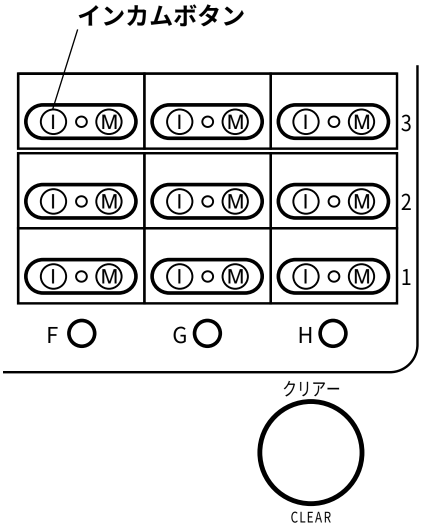


4 生徒と話したいとき

①話したい生徒のインカムボタンを押し、個別インカムにします。

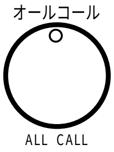
②つぎに話したい生徒のインカムボタンを押すことにより、その生徒の個別インカムになります。

③個別インカムしている生徒のインカムボタンを押すか、クリアーボタンを押すと、個別インカムが解除されます。



5 教材音を流さずに、生徒全員に呼びかけたいとき

①オールコールボタンを押すことにより、生徒全員に呼びかけることができます。



②クリアーボタンを押すとオールコールが解除されます。

⬇

授業終了へ （37ページ参照）

基本的な授業（一斉授業の場合）

■教材を4倍速で録音させながら授業する場合

＊マスターテープレコーダーとブーステープレコーダーが4倍速に対応していること。
また、4倍速録音中の教材送出にも対応していること。（6ページの“テープレコーダー機能表”参照）

準備完了より （29ページ参照）

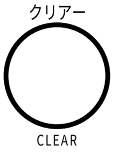
⬇

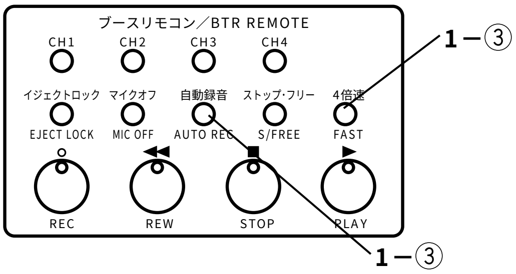
1 生徒に教材を4倍速で録音させます。

①オールコール中の場合はクリアーボタンを押してオールコールをクリアーします。
②ブース出力のＭＴＲ１／Ｖ１またはＭＴＲ２／Ｖ２を選択します。
③ブースリモコンで4倍速選択後、自動録音を選択します。

⬇

ＭＴＲ１またはＭＴＲ２の教材を4倍速で生徒側に録音します。





2 4倍速で教材を送出しているMTR1またはMTR2以外の機器より教材を生徒側に流したいとき

①4倍速で送出しているＭＴＲ１またはＭＴＲ２以外の送出したい教材の入った機器を再生にします。
②送出する機器の先生モニターを選択します。

⬇

再生状態の機器をモニターできます。

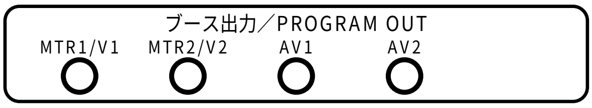
③送出する機器のブース出力を選択します。

⬇

再生状態になった機器の音声教材が生徒に送出されます。

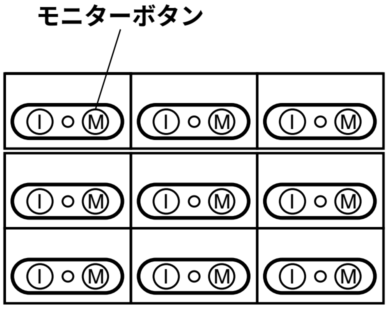
⬇

④教材を送出していた機器を停止状態にし、教材送出を終了します。



3 生徒の学習状況をモニターします

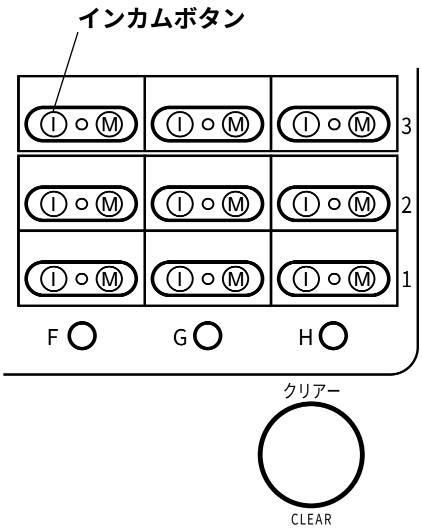
①学習状況をモニターしたい生徒のモニターボタンを押して、個別モニターにします。
②つぎの生徒のモニターボタンを押します。
③個別モニターしている生徒のモニターボタンを押すか、クリアーボタンを押すと、個別モニターが解除されます。



4 生徒と話したいとき

①話したい生徒のインカムボタンを押し、個別インカムにします。

②つぎに話したい生徒のインカムボタンを押すことにより、その生徒の個別インカムになります。

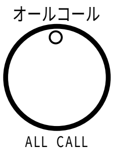


③個別インカムしている生徒のインカムボタンを押すか、クリアーボタンを押すと、個別インカムが解除されます。

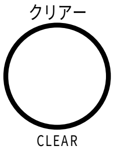
5 教材録音を終了します。

①ブースリモコンで４倍速で録音している機器の停止を選択すると、ＭＴＲ、ＢＴＲともに停止し、教材録音を終了します。

②オールコールボタンを押し、生徒に教材録音が終了した旨を伝えます。



③クリアーボタンを押し、オールコールをクリアーします。



⬇

授業終了へ （37ページ参照）

基本的な授業（一斉授業の場合）

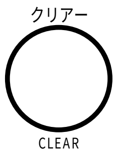
■MTR1の教材を生徒に録音させながら授業する場合

準備完了より　（29ページ参照）

↓

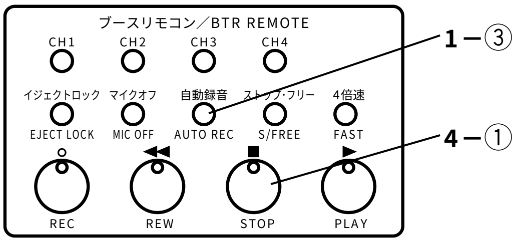
1 ブーステープレコーダーに教材を録音させます。

①オールコール中の場合はクリアーボタンを押して、オールコールをクリアーします。



②ブース出力のＭＴＲ１／Ｖ１が選択されていることを確認します。

③ブースリモコンで自動録音を選択します。
ＭＴＲ１の教材を生徒に聞かせながら、ＢＴＲに録音ができます。



このとき、マイクオフボタンを押して、生徒のマイクをオフにすると、生徒の声を入れずに、教材音のみの録音ができます。

2 必要に応じて、教材音に先生の声をミキシングします。

①ＭＩＣ ＭＩＸボタンを押します。

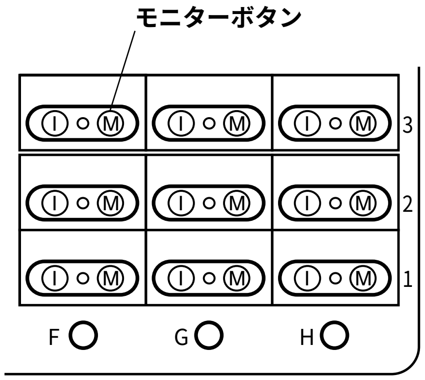
②ＭＩＣ ＭＩＸボタンを再度押して終了します。

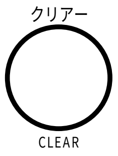
3 生徒の学習状況をモニターします。

①学習状況をモニターしたい生徒のモニターボタンを押して、個別モニターにします。

②つぎにモニターしたい生徒のモニターボタンを押すことにより、その生徒の個別モニターになります。

③個別モニターしている生徒のモニターボタンを押すか、クリアーボタンを押すと、個別モニターが解除されます。



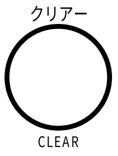


4 教材録音を終了します

①ブースリモコンで停止を選択すると、ＭＴＲ１、ＢＴＲともに停止し、教材録音を終了します。

②オールコールボタンを押し、生徒に教材録音が終了した旨を伝えます。

③クリアーボタンを押し、オールコールをクリアーします。



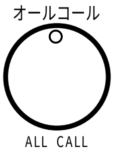
↓

授業終了へ

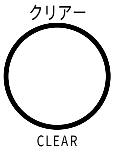
■授業終了

1 授業終了の指示をします。

①オールコールボタンを押し、授業を終了する旨を生徒へ指示します。



②クリアーボタンを押し、オールコールをクリアーします。



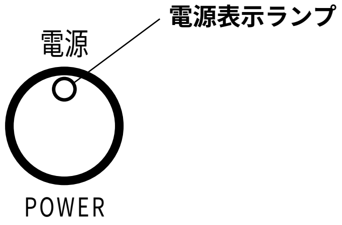
2 LL操作ユニットの電源を切ります。

電源ボタンを押します。

⬇

ＬＬ操作ユニットの電源表示ランプが点滅します。数秒すると、電源表示ランプが消え、電源が切れます。

ＢＴＲ、ＭＴＲの電源も同時に切れます。

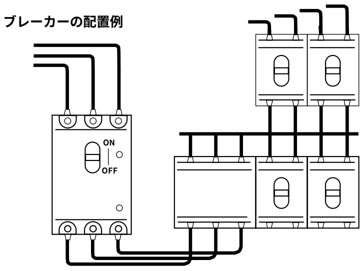


3 ブレーカーを切ります。

ＬＬ操作ユニットの電源表示ランプが消えたのを確認してから、教室内ブレーカーを切ってください。

⬇

授業終了操作完了



ご注意

必ずLL操作ユニットの電源スイッチを切ってから、ブレーカーを回線別に切ってください。
直接ブレーカーを切ると、LLシステムの内部データーが失われます。
主幹のブレーカーで一斉にオフにしないでください。ブレーカーは回線別にオンオフしてください。

授業切換機能

■授業

モノラル教材を使用した授業をします。
基本として左右に同じ音声が録音されているモノラル教材を使用した授業をします。
送出されるLトラックの音声を生徒の左右に流しモノラル状態で聞かせます。

1 教材を送出します。

①送出したい教材を再生状態にして、そのブース出力を選択します。
②送出している教材の先生モニターボタンを押してからMIC MIXボタンを押します。

- 選択した機器の教材音が生徒のヘッドセットの左右に、教材のL（トラックの音声）が流れます。
- 先生の声を生徒に聞かせることができます。

2 モノラル教材を使用した授業をします。

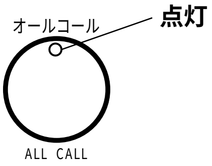
コミュニケーションやBTRリモコンを行い、授業をします。

コミュニケーション機能

■オールコール

生徒全員に呼びかけをします。

1　オールコールボタンを押します。



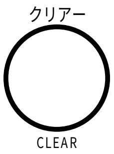
- ヘッドセット、モニタースピーカー、ルームスピーカーすべてにチャイム音が聞こえます。（モニタースピーカー、ルームスピーカーのスイッチを“ＯＮ”にしておいてください）
- 他のコミュニケーション（個別／オート／グループモニター、コールレスポンス、個別／グループインカム、モデル）を行っていた場合は、その動作はクリアーとなります。
- ブーステープレコーダーが再生または練習録音の場合、いったん停止となり、教材音が一時的に聞こえなくなります。（録音はできます）

2　全生徒に呼びかけます。

- 生徒のヘッドセット、モニタースピーカー、ルームスピーカーに先生の声が流れます。
- 教材録音中のブーステープレコーダーには先生の声は録音されません。

3　オールコールをクリアーします。

クリアーボタンを押します。



- いったん停止していたブーステープレコーダーは再生または練習録音となります。
- 生徒のヘッドセット、ルームスピーカー、モニタースピーカーに教材音が聞こえます。

ご注意

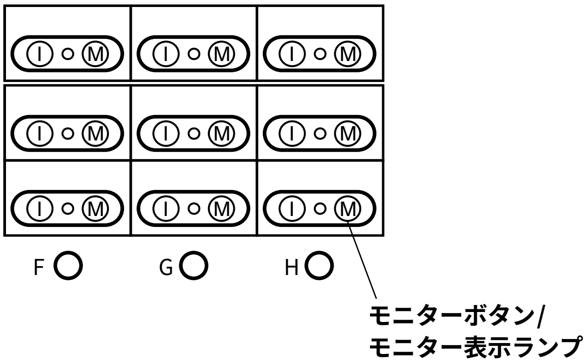
オールコールから他のコミュニケーション（モニターやインカム）などを行うと、オールコールはクリアーされ、新しく操作したコミュニケーションモードになります。

コミュニケーション機能

■個別モニター

学習状況をモニターします。

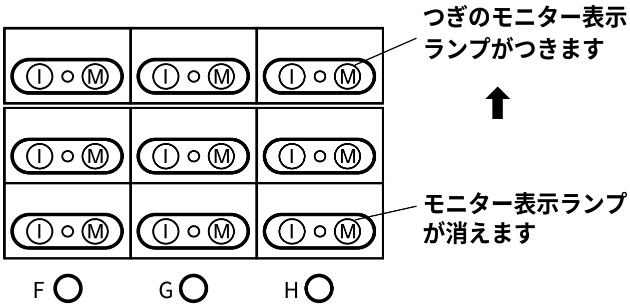
1　学習状況をモニターしたい生徒のモニターボタンを押します。



- 選択した生徒のモニター表示ランプがつき、モニターとなります。
- 先生のヘッドセット・モニタースピーカー、ルームスピーカーに選択した生徒の教材音とマイク音をミキシングした音が流れます。
- 会話の練習（ペア／フリーペア／グループ）のときは、モニターとなった生徒と組みになっている生徒のモニター表示ランプもつき、モニターとなります。
- 他のコミュニケーション（コールレスポンス・オールコール・個別／グループインカム、モデル）を行っていた場合は、その動作はクリアーされます。

2　つぎの生徒をモニターします。

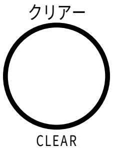
次の生徒のモニターボタンを押します。



- 1で選択した生徒のモニター表示ランプが消えます。
- 2で選択した生徒がモニターになります。

3　個別モニターをクリアーします。

クリアーボタンまたは、選択されている生徒のモニターボタンを押します。



- モニターとなっていた生徒のモニター表示ランプが消えます。
- 先生側に生徒の教材音、マイク音が流れなくなります。

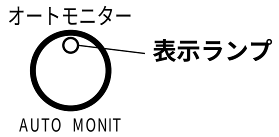
ご注意

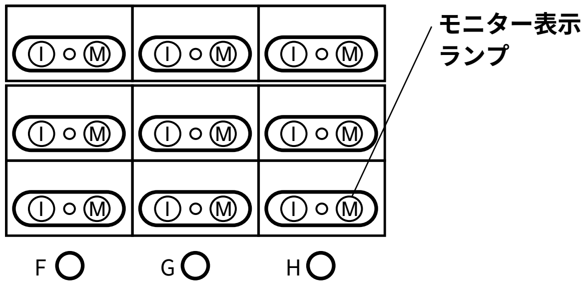
会話練習中に自習状態の生徒のモニターを行うことはできません。

■オートモニター

学習状況を設定したスキャン時間でモニターします。

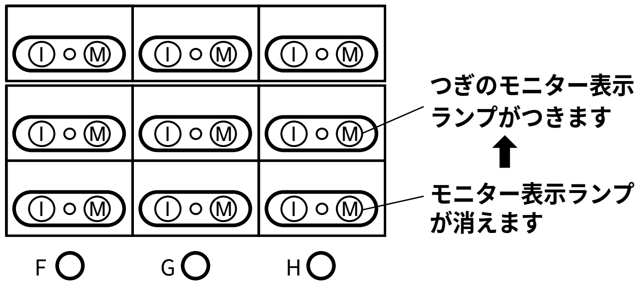
1　オートモニターボタンを押します。





- 先生のヘッドセット、モニタースピーカー、ルームスピーカーに選択された生徒の教材音とマイク音をミキシングした音が流れます。
- 会話の練習（ペア／フリーペア／グループ）のときは、モニターとなった生徒と組みになっている生徒のモニター表示ランプもつき、モニターになります。
- 他のコミュニケーション（個別／グループモニター・コールレスポンス・オールコール・個別／グループインカム、モデル）を行っていた場合は、その動作はクリアーされます。

2　スキャン時間が過ぎた後、つぎの生徒のモニターになります。



- スキャン時間が過ぎた後、1でモニターとなった生徒のモニター表示ランプが消え、モニターをクリアーします。
- つぎの生徒のモニター表示ランプがつき、モニター状態になります。

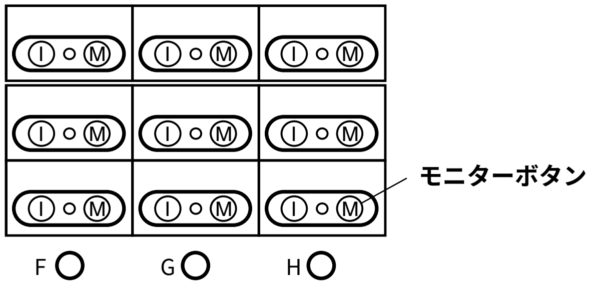
3　スキャン時間が終了する前につぎの生徒をモニターするとき。

オートモニターボタンを再度押します。

- モニターとなっている生徒のモニター表示ランプが消え、モニターがクリアーされます。
- つぎの生徒のモニター表示ランプがつき、モニター状態になります。

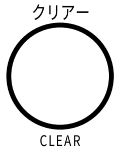
コミュニケーション機能

4　モニター時間を延長するとき。
モニターしていた生徒のモニターボタンを押します。

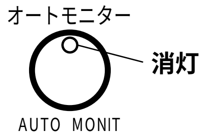


●モニターボタンを押したときからオートモニターをし直します。

5　オートモニターをクリアーします。
クリアーボタンを押します。



●モニターとなっていた生徒のモニター表示ランプが消え、先生側に生徒の教材音、マイク音が流れなくなります。



エキスパート設定で以下の設定ができます。

- **オートモニターの時間は、エキスパート設定で変更できます。⇨5秒／10秒／15秒**
- **オートモニターの方向は、エキスパート設定で変更できます。⇨縦方向／横方向**

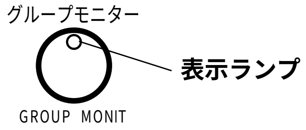
ご注意

会話練習時には、自習中の生徒のオートモニターはできません。

■グループモニター

生徒の学習状況を指定した順序で設定したスキャン時間でモニターします。
10人までの生徒を選択できます。（会話練習時は10組までです。）

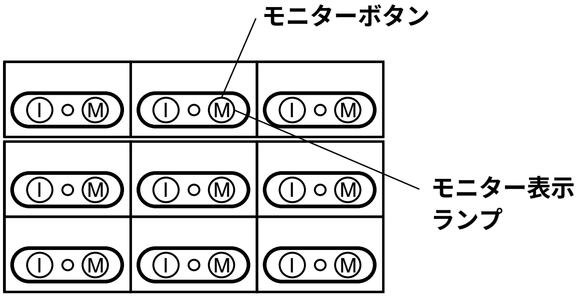
1　グループモニターボタンを押します。



- 他のコミュニケーション（個別／オートモニター／コールレスポンス・オールコール・個別／グループインカム、モデル）を行っていた場合は、その動作はクリアーとなります。

2　グループに組み入れる生徒を選択します。

学習状況をモニターしたい生徒のモニターボタンを押します。10人までの複数生徒を選択できます。



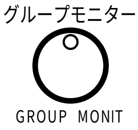
- 選択した生徒のモニター表示ランプがつき、モニター状態となります。
- 会話の練習（ペア／フリーペア／グループ）のときは、モニター指定した生徒と組みになっている生徒のモニター表示ランプもつき、モニターとなります。
- 先生のヘッドセット、モニタースピーカー、ルームスピーカーに選択された生徒の教材音とマイク音をミキシングした音が流れます。
- 指定した生徒のグループは、会話練習を行うか、授業を終了するまで記憶されます。

3　スキャン時間が過ぎた後、つぎに選択した生徒のモニターになります。

- スキャン時間が過ぎた後、2でモニターとなった生徒のモニターがクリアーされます。
- つぎに組み込んだ生徒がモニター状態になります。

4　スキャン時間が終了する前に、つぎの生徒をモニターするとき。

グループモニターボタンを再度押します。

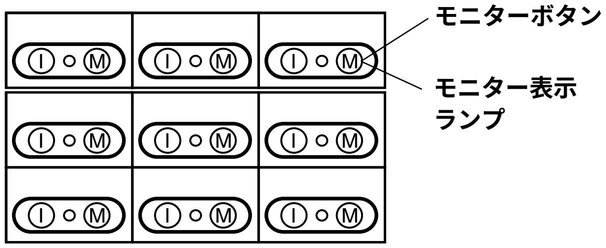


- モニターとなっている生徒のモニターをクリアーします。
- つぎに組み込んだ生徒のモニター状態になります。

コミュニケーション機能

5 グループモニターから生徒をはずすとき。

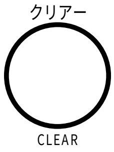
グループとしていた生徒のモニターボタンを押します。



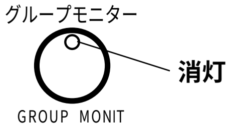
●選択した生徒のモニター表示ランプが消え、グループモニターの対象からはずれます。

6 グループモニターをクリアーします。

クリアーボタンを押します。



●グループモニターとなっていた生徒のモニター表示ランプが消え、先生側に生徒の教材音、マイク音が流れなくなります。



エキスパート設定で以下の設定ができます。

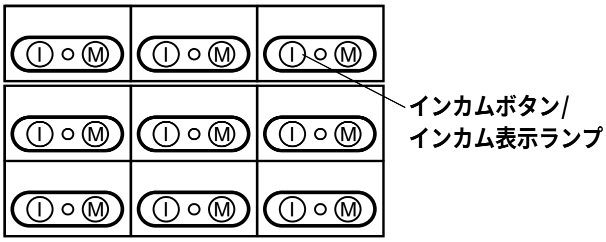
グループモニターの時間は、⇨5秒／10秒／15秒　エキスパート設定で変更できます。

■個別インカム

指定した生徒と通話をします。

1 インカムにします。

会話したい生徒のインカムボタンを押します。



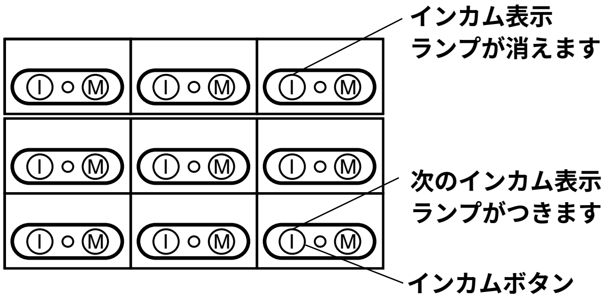
- 会話練習（ペア／フリーペア／グループ）のときは、インカム指定した生徒と組みになっている生徒のインカム表示ランプも点灯し、インカムできます。
- ヘッドセット、ルームスピーカー、モニタースピーカーにチャイム音が聞こえます。
- 他のコミュニケーション（個別／オート／グループモニター、オールコール、コールレスポンス）を行っている場合は、その動作は解除となります。
- 選択した生徒のブーステープレコーダーが再生または練習録音のとき、いったん停止となります。（エキスパート設定で「マスキングを停止させる」の設定のとき）

2 選択した生徒と会話します。

- ヘッドセット、ルームスピーカー、モニタースピーカーに、選択した生徒の教材音・マイク音、先生のマイク音をミキシングした音が流れます。

3 つぎの生徒をインカムします。

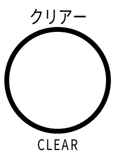
つぎの生徒のインカムボタンを押します。



- 1で選択した生徒のインカム表示ランプが消えます。インカム中にブーステープレコーダーがいったん停止した場合は、再生または練習録音になります。
- 3で選択した生徒がインカムとなります。

4 個別インカムをクリアーします。

クリアーボタンまたは、選択されている生徒のインカムボタンを押します。



- 選択されていた生徒のインカム表示ランプが消え、個別インカムできなくなります。

ご注意

- **会話練習中に自習の生徒の個別インカムはできません。**

エキスパート設定で以下の設定ができます。

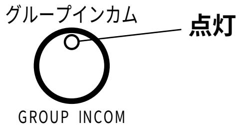
- **個別インカムにした生徒のブーステープレコーダーが再生／練習録音のとき、いったん停止（ペア・グループ時は停止）させるか停止させないか（マスキング）を設定することができます。⇨ 停止させる／停止させない**
- **停止させるの設定のときは、再生、録音、練習録音はできません。**
- **個別インカムのときチャイム音を流すか流さないかを設定することができます。⇨ 聞かせる／聞かせない**

コミュニケーション機能

■グループインカム

1〜10人の生徒をグループにして通話します。

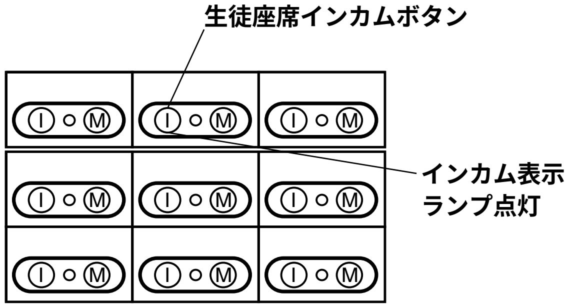
1 グループインカムボタンを押します。



- 他のコミュニケーション（個別／オート／グループモニター・オールコール・コールレスポンス・個別インカム、モデル）を行っていた場合は、その動作はクリアーとなります。

2 グループに組み入れる生徒を選択します。

グループにしたい生徒の生徒座席インカムボタンを押します。10人までの複数生徒を選択できます。



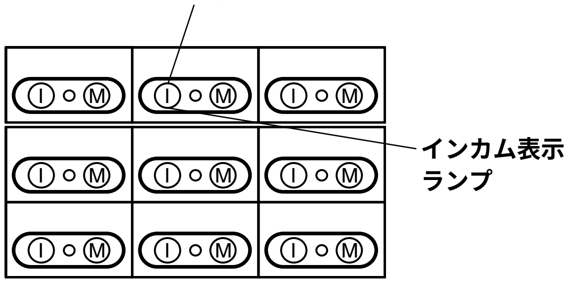
- グループとなった生徒のブーステープレコーダーが再生／練習録音のとき、停止となります。
- 会話練習（ペア／フリーペア／グループ）のときは、インカム指定した生徒と組みになっている生徒のインカム表示ランプもつき、インカムとなります。

3 グループで会話します。

- 先生と生徒のヘッドセット（グループに選択された生徒のみ）、モニタースピーカー、ルームスピーカーに、グループ生徒のマイク音、先生のマイク音がミキシングして流れます。

4 グループインカムから生徒をはずすとき。

解除する生徒の座席インカムボタンを再度押します。

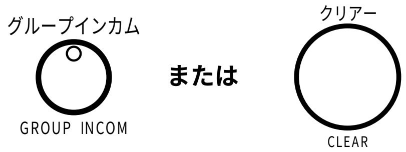


- 選択した生徒のインカム表示ランプが消え、グループインカムからはずれます。

5 グループインカムをクリアーします。

グループインカムボタンかクリアーボタンを押します。

● グループインカム表示ランプ、座席選択部のインカムランプが消え、通話できなくなります。



エキスパート設定で以下の設定ができます。

● **グループに参加した生徒のブーステープレコーダーが再生のとき、停止させるかさせないか（マスキング）、の設定が変更できます。⇨停止させる／停止させない**

ご注意

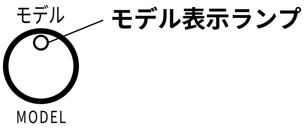
● **自習している生徒をグループインカムに参加させることはできません。**
● **複数チャンネルで学習を行っている場合、教材割当でCH1〜CH4を全て生徒に割り当てているときはグループインカムはできません。**
● **4倍速で教材の録音を行っている場合、グループインカムはできません。**
● **エキスパート設定の使用チャンネルが複数CHのとき、グループインカムの対象となった生徒は、教材音は聞こえなくなります。**

コミュニケーション機能

■モデル

1〜10人の生徒の声をモデルとして他の生徒に聞かせます。

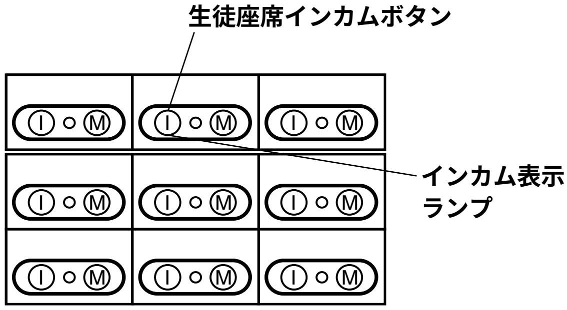
1 モデルボタンを押します。



- 他のコミュニケーション（個別／オート／グループモニター、オールコール、コールレスポンス、個別／グループインカム）を行っていた場合は、その動作がクリアーとなります。
- モデル表示ランプがつきます。

2 モデルとする生徒を選択します。

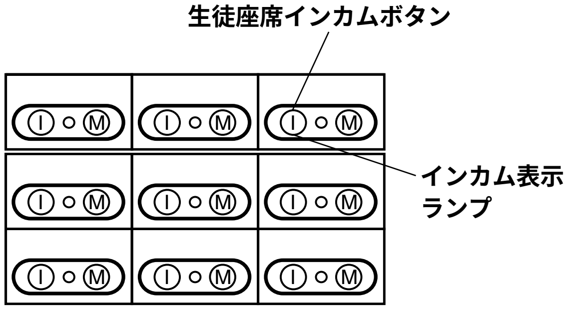
モデルにする生徒の生徒座席インカムボタンを押します。



- モデルとなった生徒のブーステープレコーダーが再生／練習録音のとき、停止となります。
- 会話練習（ペア／フリーペア／グループ）のときは、モデル指定した生徒と組みになっている生徒のインカム表示ランプもつき、モデルになります。

3 ほかの生徒をモデルの対象として組み入れます。

モデルに組み入れる生徒の生徒座席インカムボタンを押します。



A 2で選択したモデルと違う教材番号が割り当てられている生徒をモデルにしようとしたとき

- 先生のヘッドセット、モニタースピーカーにミス音が流れ、その生徒はモデルになりません。

B 2で選択したモデルと同じ教材番号が割り当てられている生徒をモデルにしようとしたときエキスパート設定により、以下のような動作となります。

①モデル練習モードを「グループ」に設定してあるとき

- 選択した生徒のインカム表示ランプが点灯します。
- モデルとなった生徒のブーステープレコーダーが再生／練習録音のとき、停止となります。
- 10人までの生徒を一緒にモデルにできます。

②モデル練習モードを「個別」に設定してあるとき

- 2でモデルとした生徒のインカム表示ランプが消灯します。
- 選択した生徒のインカム表示ランプが点灯します。
- モデルとなった生徒のブーステープレコーダーが再生／練習録音のとき、停止となります。

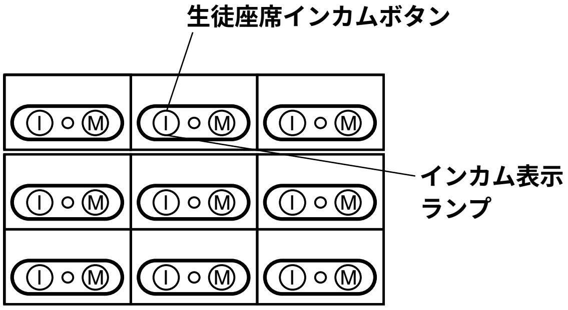
4 モデルの会話を聞かせます。

モデル生徒がヘッドセットマイクから話します。

生徒のヘッドセット（モデルと同じ教材番号が割り当てられている生徒のみ)、ルームスピーカーにモデルのマイク音、先生のマイク音、教材音がミキシングして流れます。

5 モデルの対象となっている生徒を解除するとき。

モデルとしていた生徒の生徒座席インカムボタンを押します。



● 選択した生徒のインカム表示ランプが消え、モデルがクリアーされます。

6 モデルを解除します。

モデルボタンか、クリアーボタンを押します。

● モデル表示ランプ、座席選択部のインカム表示ランプが消え、モデルが解除されます。

エキスパート設定では、下記の設定ができます。

- **モデルとなった生徒のブーステープレコーダーが再生／練習録音のとき、停止するか停止しないかを設定できます。⇨停止させる／停止させない**
- **モデルになる生徒が10人までか、常に1人かの設定ができます。⇨グループ／個別**

コミュニケーション機能

■コールレスポンス

生徒から先生に質問をします。

1 生徒がブーステープレコーダーのコールボタンを押します。

- 先生のヘッドセット、モニタースピーカーにコール要求音が流れます。（他の生徒がすでにコールを要求していると、コール要求音は流れません）
- コールを要求した生徒の出席表示ランプが点滅します。

2 生徒からの呼びかけに答えます。

コールレスポンスボタンを押します。

- コールを一番最初に要求した生徒のインカム表示ランプがつきます。
- 先生のヘッドセット、モニタースピーカー、生徒のヘッドセット、ルームスピーカーにチャイム音が聞こえます。
- 他のコミュニケーション（個別／オート／グループモニター・オールコール・個別／グループインカム）を行っていた場合は、その動作はクリアーされます。
- 選択した生徒のブーステープレコーダーが再生／練習録音のとき、いったん停止します。

3 選択された生徒と会話します。

- 先生のヘッドセット、選択された生徒のヘッドセット、モニタースピーカー、ルームスピーカーに、選択した生徒の教材音、マイク音、先生のマイク音をミキシングした音が流れます。

4 つぎの生徒を選択します。

コールレスポンスボタンを押します。

- 1で選択された生徒のインカム表示ランプが消え、出席表示ランプの点滅が止まります。
  コールレスポンスになるまえに再生／練習録音だった場合は、再生／練習録音になります。
- つぎにコールを要求した生徒がコールレスポンスとなります。
  コールを要求した生徒がいないときは、コールレスポンスがクリアーになります。

エキスパート設定で以下の設定ができます

- **コールレスポンスを実施している生徒のブーステープレコーダーが再生／練習録音のとき、いったん停止（会話練習時は停止）するか、停止しないか（マスキング）を設定できます。⇨停止させる／停止させない**
- **個別／グループインカム、モデル中にコールレスポンスを行った場合、コールレスポンスの終了時に前の状態に復帰するか復帰しないかを設定できます。⇨復帰する／復帰しない**

■コール要求クリアー

生徒からのすべてのコール要求を解除します。

1 コールレスポンスボタンを押しながら、クリアーボタンを押します。

- 通話していた場合、その生徒のインカム表示ランプが消え、通話が解除されます。
  コールレスポンスになるまえに再生／練習録音だった場合は、再生／練習録音となります。
- コールを要求していた生徒のブーステープレコーダーのコールボタンのランプが消えます。
- コールを要求していた生徒の出席表示ランプの点滅が止まります。

■コール要求禁止

生徒からの先生への呼びかけ（コール）を禁止します。

1 コール要求禁止ボタンを押します。

- コール要求禁止ボタンのランプがつきます。
- コール要求している生徒の出席表示ランプの点滅が止まります。また、コール要求音が流れなくなります。

2 コール要求禁止ボタンを再度押します。

- コール要求禁止ボタンのランプが消えます。
- コール要求している生徒の出席表示ランプの点滅が復帰します。

教材割当

生徒に教材番号を割り当てます。

ご注意

- **エキスパート設定で使用チャンネルを「複数チャンネル」にしておく必要があります。**

1 教材割当ができる状態にします。

教材割当ボタンを押します。

- 教材割当ボタンのランプとCH1ボタンのランプ、CH1に割り当てられている生徒のモニター表示ランプがつき、教材割当状態になります。
- 他の生徒のモニター表示ランプは消えます。

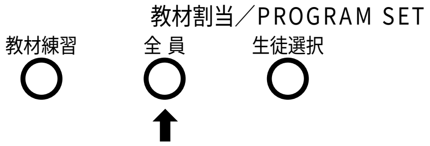
2 ●先生がチャンネルおよび自習を生徒に割り当てる場合。

チャンネル1～4、自習ボタンのいずれかを押します。

- 選択したチャンネルのボタンのランプとそのチャンネルに割り当てられている生徒のモニター表示ランプがつきます。
- 他の生徒のモニター表示ランプは消えます。

3 ●選択したチャンネルを全員に割り当てる場合。

全員ボタンを押します。



↓

- 出席している生徒のモニター表示ランプがつき、選択したチャンネルが割り当てられます。

●選択したチャンネルを列毎に割り当てる場合。

割り当てをするA～Hの列ボタンを押します。

↓

- 選択した列の生徒のモニター表示ランプがつき、選択したチャンネルが割り当てられます。
- 別のチャンネルを割り当てるときは項目番号**2**に戻ります。

4 教材割当を終了します。

教材割当ボタンを再度押します。

- 教材割当表示ランプと選択したチャンネル表示ランプが消え、教材割当を終了します。
生徒座席表示部は、通常授業時の表示に戻ります。

●チャンネルを生徒に選択させる場合。

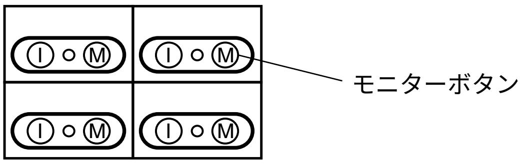
生徒選択ボタンを押します。

⬇

●生徒選択ボタンのランプがつきます。

●選択したチャンネルを生徒毎に割り当てる場合。

選択する生徒モニターボタンを押します。



⬇

● 出席している生徒のモニター表示ランプがつき、選択したチャンネルが割り当てられます。

●別のチャンネルを割り当てるときは項目番号**2**に戻ります。

3-1生徒にチャンネルを選択させます。

生徒側のブーステープレコーダーでチャンネル選択ボタンを押させます。

3-2生徒からの選択を締め切ります。

生徒選択ボタンを押します。

⬇

●生徒選択ボタンのランプが消えます。

ご注意

生徒選択中に以下のことはできません。

- **ブーステープレコーダーの操作（再生、早送り、巻戻し、録音、停止など）**
- **ブースリモコン**
- **グループインカム**
- **モデル**

会話練習

■ペア

会話の枠の中で2人の組みで会話の練習ができます。

ご注意

- **ブースに対して音声教材は送出されません。**
- **複数チャンネルを設定していても一斉に会話練習になります。**
- **ペアの人数が2人以上になることがあります。**

1　ペアレッスンにします。

ペアボタンを押します。

ペア
○

●ペアボタンのランプがつき、エキスパート設定で設定した縦または横の生徒どうしで会話の組みができます。

2　会話の練習をします。

ペアになった生徒どうしがヘッドセットを通じて会話の練習ができます。

3　ペアレッスンを終了します。

再度ペアボタンを押します。

ペア
○

●ペアボタンのランプが消え、ペアが終了となります。
●会話練習が終了します。

エキスパート設定で下記の設定ができます。

- **ペアの組みかたをエキスパート設定で変えることができます。**　**⇨縦ペア／横ペア**
- **ペア・グループの組みかたをエキスパート設定で変えることができます。**　**⇨自動組み換え／手動組み換え**

●2人ずつのペアをつくれない場合（欠席者など）

①エキスパート設定で自動組み換えにした場合
　2人以上での会話練習となります。
②エキスパート設定で手動組み換えにした場合
　1人だけ残りますので、マニュアルセットで他の生徒と組み合わせてください。

●遅刻者の処理

マニュアルセットで他の生徒と組み合わせてください。

●組み合わせの確認

教材割当ボタンとCH1〜CH4のそれぞれのボタンを押し、生徒モニターボタンのランプの点灯により組み合わせが確認できます。

■フリーペア

会話の枠の中で自動的に任意の2人組みを作り、会話の練習ができます。

ご注意

- **ブースに対して音声教材は送出されません。**
- **複数チャンネルを設定していても一斉に会話練習になります。**
- **ペアの人数が2人以上になることがあります。**

1 フリーペアレッスンにします。

フリーペアボタンを押します。

フリーペア
○

- フリーペアボタンのランプがつき、フリーペア練習状態となります。

2 ペアになった生徒どうしがヘッドセットを通じて会話の練習ができます。

3 フリーペアレッスンを終了します。

再度、フリーペアボタンを押します。

フリーペア
○

- フリーペアボタンのランプが消え、フリーペアが終了となります。
- 会話練習が終了します。

■グループ

会話の枠の中で4人組みで会話の練習ができます。

ご注意

- **ブースに対して音声教材は送出されません。**
- **複数チャンネルを設定していても一斉に会話練習になります。**

1 グループレッスンにします。

グループボタンを押します。

グループ
○

- グループボタンのランプがつき、グループ練習状態となります。
- 座席が前後左右の生徒どうしで会話の組みができます。

2 会話の練習をします。

グループになった生徒どうしがヘッドセットを通じて会話の練習ができます。

3 グループレッスンを終了します。

再度、グループボタンを押します。

グループ
○

- グループボタンのランプが消え、グループが終了となります。
- 会話練習が終了します。

エキスパート設定で下記の設定ができます。

●ペア、グループの組みかたをエキスパート設定でかえることができます。⇨自動組み換え／手動組み換え

会話練習

■マニュアルセット

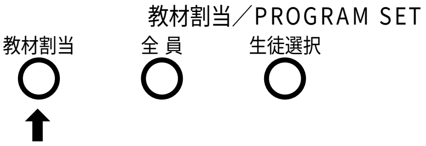
ご注意

- **複数チャンネルを設定していても、一斉に異なる組み合わせで会話練習になります。**

●会話練習時にペア、グループを組み換えます。

1 マニュアルセットにします。

教材割当ボタンを押します。



- 教材割当表示ランプとマニュアルセットCH1ボタンのランプ、CH1に割り当てられている生徒のモニター表示ランプがつき、マニュアルセット状態になります。
- CH1以外に割り当てられた生徒のモニター表示ランプは消えます。

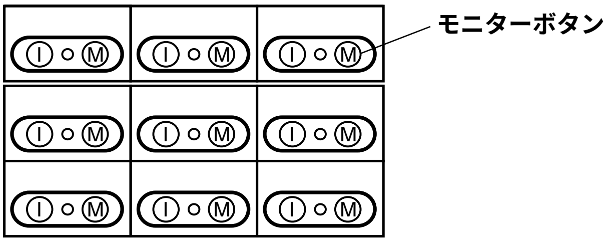
2 割り当てるチャンネルを選択します。

マニュアルセットCH1〜4を押します。

- 選択したCHのボタンのランプとチャンネルに割り当てられている生徒のモニター表示ランプがつきます。
- 他のCHに割り当てられた生徒のモニター表示ランプは消えます。

3 チャンネルを割り当てる生徒を選択します。

選択する生徒のモニターボタンを押します。



- 選択した生徒のモニター表示ランプがつき、チャンネルが割り当てられます。

4 マニュアルセットを終了します。

再度、教材割当ボタンを押します。

- 教材割当ボタンのランプと選択したCH表示ランプが消え、マニュアルセットを終了します。
- 生徒座席表示部は、会話練習のCH表示を終了します。

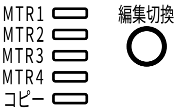
マスターテープレコーダーの制御機能

■ポーズコントロール

ＭＴＲの教材に生徒が練習するための時間を設けて流します。（詳細は19〜21ページを参照）

1　ポーズコントロールをかけるマスターテープレコーダーを選択します。

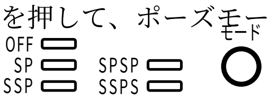
編集切換ボタンを押して、ＭＴＲ１〜4を選択します。



●選択したマスターテープレコーダーの表示ランプがつきます。
押すたびに、ＭＴＲ１→ＭＴＲ２→ＭＴＲ３→ＭＴＲ４→…とランプが変化します。

2　ポーズモードを選択します。

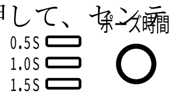
モードボタンを押して、ポーズモードを選択します。



●選択したポーズモード表示ランプがつきます。
押すたびに、OFF→ＳＰ→ＳＳＰ→ＳＰＳＰ→ＳＳＰＳ→…とランプが変化します。

3　時間を設定します。

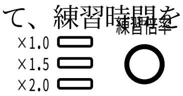
ポーズ時間ボタンを押して、センテンス間隔時間を選択します。



●選択したセンテンス間隔時間表示ランプがつきます。
押すたびに、0.5秒→1.0秒→1.5秒→…とランプが変化します。

4　練習時間を設定します。

練習倍率ボタンを押して、練習時間を選択します。



●選択した練習倍率表示ランプがつきます。
押すたびに、×1.0→×1.5→×2.0→…とランプが変化します。

5　ポーズコントロールを開始します。

スタート／ストップボタンを押します。

●スタート／ストップボタンのランプがつきます。
設定したモード条件でマスターテープレコーダーが動作します。
●ポーズコントロールモード表示のランプが動作にあわせてつきます。

6　文章をスキップするときは、文章スキップボタンを押します。

●そのときの文章に対してポーズコントロールがされず、次の文章へすすみます。
（注）文章が聞こえているときのみ有効です。

7　ポーズコントロールを終了します。

スタート／ストップボタンを押します。

●スタート／ストップボタンのランプが消えます。
マスターテープレコーダーの動作が中止されます。

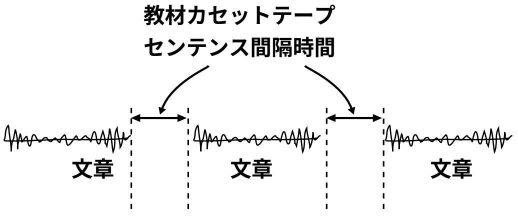
ご注意

カウンタサーチを行う場合は、ポーズコントロールを終了してからにしてください。

ご注意

ポーズコントロール機能を正常に動作させるため、下記のセンテンス間隔時間の教材カセットテープをご使用ください。

ポーズコントロール機能のセンテンス間隔時間	教材カセットテープのセンテンス間隔時間
0.5秒	1秒以上
1.0秒	1.5秒以上
1.5秒	2秒以上



指定のセンテンス間隔時間以下の教材カセットテープを使用しますと、文章の頭切れをおこしたり、次の文章の頭が聞こえる場合があります。

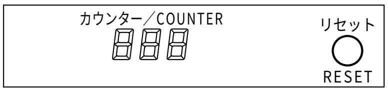
マスターテープレコーダーの制御機能

■MTRカウンター表示／リセット

ＭＴＲのカウンター値を表示します。

●カウンター表示

1　先生モニター選択でカウンター値（MTR）を表示させたい教材機器を選択します。

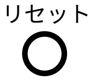


●ＭＴＲカウンターに選択した機器のカウンター値が表示されます。

●カウンターリセット

カウンター値をリセットします。

1　リセットボタンを押します。



●先生モニター選択で選択されているＭＴＲのカウンター値がリセットされます。

ご注意

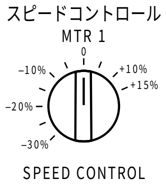
●リセットすると、オートサーチの登録はクリアーされます。

■スピードコントロール

ＭＴＲ1の教材を音程を変えずに再生速度を変えて送出します。
－30%～＋15%まで再生スピードを変えられます。
スピードコントロールを行うにはスピードコントロールユニット（WU-SPC20）が別途必要となります。

1 再生スピードを変えます。

スピードコントロールつまみを回して、再生スピードを調節します。



マスターテープレコーダーの制御機能

■オートサーチ

授業の中で再度呼び出したい教材の場所を登録し、登録したカウンター値（ＭＴＲ１〜４）を検索します。

ご注意

- **登録したときには、途中でカウンターのリセットやカセットを機器から取り出さないでください。カウンターがリセットされると、登録内容が無効になります。**
- **登録内容は、電源を切るかリセットボタンを押すとリセットされます。**
- **MTR1〜4に対して各々5登録までできます。**
  先生モニターを切り換えると、登録してある登録番号の登録表示ランプが点灯します。
- **レッスンパターンには登録できません。**

1　オートサーチしたい教材機器を選択します。

先生モニターボタンでサーチする機器のボタンを押します。
（ＡＶ１、２はＭＴＲ３、４としてあつかいます）

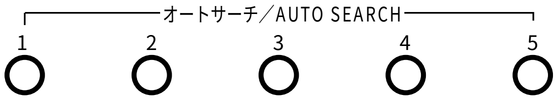
●選択したボタンのランプがつきます。

2　カウンター値を登録するとき。

登録ボタンを押します。

●登録ボタンのランプがつきます。

教材を再生しながら、オートサーチボタン1〜5の中で未登録のボタンを押します。



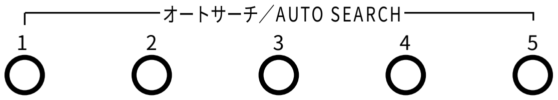
●押した時点のマスターテープレコーダーのカウンター値を登録します。
●オートサーチ1〜5の中で押した番号のボタンのランプがつきます。
（注）既に登録しているボタンを押すと、新しいカウンターの値で登録されます。

登録ボタンを押して登録状態を終了します。

●登録ボタンのランプが消えます。

3　登録したカウンター値を呼び出すとき。

登録したオートサーチボタンを押します。



●登録されたカウンター値を巻き戻しまたは早送りで検索します。
●登録したオートサーチボタンのランプはついています。
●未登録のオートサーチボタンのランプは消えています。

ブースリモコン機能

■ブースリモコン

ブーステープレコーダーを先生側から操作します。

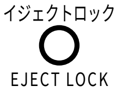
- CH1～CH4 ：ブースリモコンを行うチャンネルを指定します。一斉授業のときはCH1のみが有効です。
  複数チャンネルを使用するときは、生徒に割り当てているチャンネルのみが有効です。
  会話レッスン中は一斉リモコンとなりますので、チャンネルは選択できません。
- 対象のチャンネルを選ぶ： 対象のチャンネルボタンを押します。（表示ランプがつきます）
- 個別インカム中は個別リモコンとなります。（会話レッスン中は除きます。エキスパート設定のマスキングが停止させるのときの再生、録音の個別リモコンはできません。）

●イジェクトロック

ブーステープレコーダーのカセットを取り出せなくします。
（イジェクトロック対応のBTRのみ。6ページの“テープレコーダー機能表”参照）

1 イジェクトをロックします。

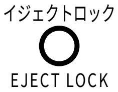
イジェクトロックボタンを押します。



- イジェクトロックボタンのランプがつき、ブーステープレコーダーのカセットフタが開かなくなります。

2 イジェクトロックを外します。

再度イジェクトロックボタンを押します。



- イジェクトロックボタンのランプが消え、ブーステープレコーダーのカセットフタが開くようになります。

●マイクオフ

教材録音時などに生徒のヘッドセットマイクの音が録音されないようにします。（個別リモコン中は操作できません。）

1 マイクオフボタンを押します。

- マイクオフボタンのランプがつき、生徒のヘッドセットマイクの音が録音されなくなります。

2 再度マイクオフボタンを押します。

- マイクオフボタンのランプが消灯し、生徒のヘッドセットマイクが有効になります。

●ストップ・フリー

ブーステープレコーダーを停止して、生徒が使っているブーステープレコーダーの操作が手動でできるようにします。

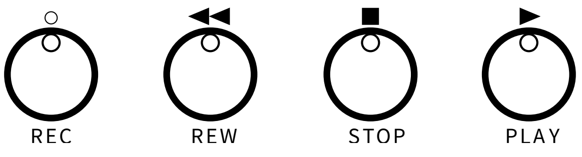
1 生徒操作を許可します。

ストップ・フリーボタンを押します。

- ストップ・フリーボタンのランプがつき、ブーステープレコーダーが停止し、手動での操作が可能になります。

2 生徒操作を禁止します。

ブースリモコンのテープ走行ボタンのいずれかを押すことによって生徒操作ができなくなります。



- ストップ・フリーボタンのランプが消え、ブーステープレコーダーが押されたボタンの状態になり、生徒側での操作ができなくなります。

ブースリモコン機能

●教材を録音する

●自動録音

ブーステープレコーダーに入っているテープの最初から教材を録音します。（個別リモコンは操作できません）

1　自動録音を開始します。

自動録音ボタンを押します。

- 自動録音ボタンのランプがつき、ブーステープレコーダーが自動的に、巻き戻し→停止（リモコン対象のＣＨの生徒が全員停止になってから）→録音になります。
- リーダーテープ分待ってからマスターテープレコーダーが再生状態になります。

2　自動録音を終了します。

ストップボタンまたはストップ・フリーボタンを押します。

- 自動録音ボタンのランプが消え、マスターテープレコーダー、ブーステープレコーダーともに停止状態になります。

（注）マスターテープレコーダーがテープの終端で停止したときも、自動録音を終了します。

●4倍速自動録音

ブーステープレコーダーに入っているテープの最初から教材を4倍速でコピーします。
（個別リモコン中は操作できません）

1　4倍速自動録音を開始します。

4倍速ボタンのランプがついていないときは、4倍速ボタンを押します。

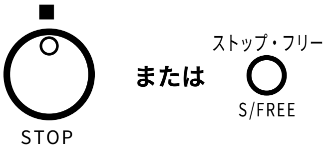
- 4倍速ボタンのランプがつきます。

自動録音ボタンを押します。

- 自動録音ボタンのランプがつき、ブーステープレコーダーが自動的に巻き戻し→停止（リモコン対象ＣＨの生徒が全員停止になってから）→4倍速録音になります。
- リーダーテープ分待ってからマスターテープレコーダーが4倍速再生状態になります。

2　4倍速自動録音を終了します。

ストップボタンまたはストップ・フリーボタンを押します。



- 4倍速および自動録音ボタンのランプが消え、マスターテープレコーダー、ブーステープレコーダーともに停止状態になります。

（注）マスターテープレコーダーがテープの終端で停止したときも、4倍速自動録音を終了します。

ご注意

- **４倍速に対応するブーステープレコーダー、マスターテープレコーダー間でのみ可能です。**

一斉授業のとき　　　　　：CH1に送出するマスターテープレコーダーをブース出力で選択してください。MTR1～4のとき有効です。

複数チャンネル授業のとき：ブース出力でCH1（MTR1）、CH2（MTR2）CH3（MTR3）、CH4（MTR4）を選択してください。

●4倍速録音

ブーステープレコーダーに教材を4倍速でコピーします。（個別リモコンは操作できません。）

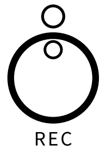
1　4倍速録音を開始します。

4倍速ボタンのランプがついていないときは、4倍速ボタンを押します。

●4倍速ボタンのランプがつきます。

録音ボタンを押します。

●録音ボタンのランプがつき、ブーステープレコーダーが自動的に、4倍速録音になると同時にマスターテープレコーダーが4倍速再生状態になります。



2　4倍速録音を終了します。

ストップボタンまたはストップ・フリーボタンを押します。

●4倍速および録音ボタンのランプが消え、マスターテープレコーダー、ブーステープレコーダーともに停止状態になります。

ご注意

● 4倍速に対応するブーステープレコーダー、マスターテープレコーダー間でのみ可能です。

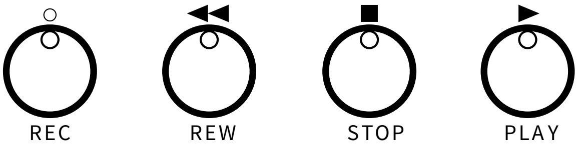
一斉授業のとき	**：CH1に送出するマスターテープレコーダーをブース出力で選択してください。MTR1～4のとき有効です。**
複数チャンネル授業のとき	**：ブース出力でCH1（MTR1）、CH2（MTR2）CH3（AV1/MTR3）、CH4（AV2/　MTR4）を選択してください。**

●ブーステープレコーダーのテープ走行のリモコン操作

1　実行したいリモコンの状態を選択します。

ブースリモコンのテープ走行ボタンのいずれかを押します。

●選択に応じてブーステープレコーダーが動作します。
●ブーステープレコーダーの生徒側での操作が禁止されます。



ご注意

ブースリモコンの表示について

●ブーステープレコーダーの状態は、生徒状態表示ランプに表示されます。ブースリモコンボタンの表示は最後に操作した状態になります。
（巻戻し、再生、録音などでテープの終端までいき、テープレコーダーが停止しても、表示は変更されません。）

ブースリモコン機能

■ブーステープレコーダー電源オフ

ブーステープレコーダーの電源を先生側からオフにできます。

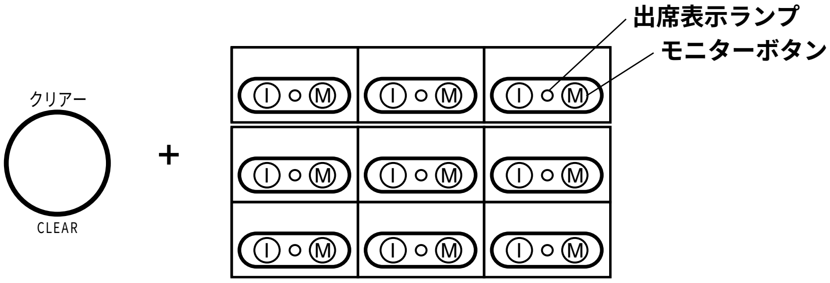
ご注意

- **エキスパート設定でブース電源オフ指示を「切れる」にしておく必要があります。**

1 ブーステープレコーダーをオフにします。

クリアーボタンを押しながら、オフにしたい生徒のモニターボタンを押します。

- 押した生徒の出席表示ランプが消え、ブーステープレコーダーが電源オフになります。



教材モニター機能

■先生モニター（教材モニター／教材頭出し）

- 生徒側に流している教材音をモニターします。（教材モニター）
- 生徒側に流していない教材をモニターします。（教材頭出し）

●教材モニター

1 モニターする教材の先生モニターボタンを押します。

- 選択した教材の先生モニターボタンのランプがつきます。
- 他の教材をモニターしていた場合は、その先生モニターをクリアーします。
- 他のコミュニケーション（個別／オートモニター・コールレスポンス・オールコール・個別／グループインカム、モデル）を行っている場合は、操作は予約となり、コミュニケーションの終了後に指定した教材のモニターとなります。
- 先生のヘッドセットと、モニタースピーカーにモニター中の教材音が聞こえます。

●先生モニターのクリアーはありません。

●教材の頭出し

授業の準備として教材の頭出しをします。
教材の最初の位置を探し出すときの音声や映像を生徒側に流したくないときなどに使います。

1 教材を用意します。

使いたい教材をマスターテープレコーダーに入れます。

2 頭出ししたい機器を選択します。

①頭出ししたい機器のブース出力がオンの場合にはオフにします。
②頭出ししたい機器の先生モニターを選択します。

- 頭出ししたい機器のブース出力ボタンのランプが消え、教材音が生徒側に流れなくなります。
- 選択機器以外を使用して教材を送出しているときは、そのままその教材が送出されています。
- 頭出ししたい機器の先生モニターボタンのランプがつき、生徒側に聞かれないでモニターできます。

3 手動操作で教材の頭出しをします。

4 生徒に頭出しした教材を送出します。

①頭出ししていた機器のブース出力を選択します。
②教材を再生します。

- ブース出力ボタンのランプがつきます。

- 一斉授業のとき
  再生した機器の教材が生徒側に流れます。
- 複数のチャンネルが存在するとき
  再生した機器のチャンネルに接続されている生徒に教材が流れます。

教材モニター機能

■マイクミックス

生徒に送られている教材音に先生の声をミキシングして聞かせます。

1 マイクミックスにします。

①ブースに送出されている機器と同じ先生モニターボタンを選択します。
②MIC MIXボタンを押します。

MIC MIX
○

- ブース出力の教材と同じ教材の先生モニターボタンのランプがつきます。
- マイクミックスボタンのランプがつき、マイクミックスとなります。
- 他のコミュニケーション（個別／オートモニター・コールレスポンス・オールコール・個別／グループインカム、モデル）を行っている場合は、操作は予約となり、コミュニケーションの終了後に指定した教材のマイクミックスとなります。
- 先生側ではヘッドセットとモニタースピーカーに、先生の声がミキシングされます。
- 生徒側ではヘッドセットとルームスピーカーの教材音に、先生の声がミキシングされて聞こえます。

2 マイクミックスのクリアー

MIC MIXボタンを再度押します。

MIC MIX
○

- マイクミックス表示ランプが消え、マイクミックスをクリアーします。

ご注意

マイクミックスを行っている間にコミュニケーションの操作を行った場合は、いったんマイクミックスは中断して、コミュニケーションの終了後にマイクミックスに復帰します。

■モニター録音／教材の録音

先生の聞いている学習状況（モニターやインカムなど）をＭＴＲ2に録音します。

●モニター録音

1 生徒とコミュニケーションします。

コミュニケーション操作については、コミュニケーション機能（39〜51ページ）を参照してください。

2 学習状況を録音します。

ＭＴＲ2の録音ボタンを押して録音状態にします。

●先生が聞いている学習状況がそのまま録音されます。

3 録音を終了します。

ＭＴＲ2の停止ボタンを押して停止状態にします。

●録音を終了します。

ご注意

●コミュニケーションをしていないときは、教材音の録音ができます。
・ブース出力している教材を先生モニターで選択してください。
・ルームスピーカーに出力している教材を録音します。

教材モニター機能

●教材の録音

ＭＴＲ1、3、4、ＡＶ1、2の機器教材の音声をＭＴＲ２に録音します。
マイクミックスしたときは、教材音に先生の声がミキシングされます。

1　生徒側に教材を送出します。

- オリジナル教材の入った機器をブース出力で選択します。
- 同じ機器を先生モニターでも選択します。
- オリジナル教材を再生します。

2　教材を録音します。

ＭＴＲ２を録音状態にします。

- 生徒に送出されている教材音が、そのまま録音されます。

- ＡＶ２をＭＴＲ２へ音声録音するとき
- ブース出力でＡＶ２を選択します。
- 先生モニターもＡＶ２を選択します。
  ➡ＡＶ２の機器を再生しＭＴＲ２を録音状態にします。

ご注意

- **ブース出力を切り換えると録音される内容が切り換わります。**
- **最後に選択したブース出力が録音されます。（複数チャンネル利用時）**

3　教材録音を終了します。

ＭＴＲ２とオリジナル教材の入った機器を停止状態にします。

- 教材の録音が終了します。

教材録音／編集機能

■教材編集

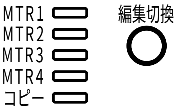
ＭＴＲ1の教材をＭＴＲ２に編集録音します。

1　コピーする教材を用意します。

コピーしたいオリジナル教材をＭＴＲ１にセットし、作成先のテープをＭＴＲ２にセットします。

2　コピーを選択します。

編集切換ボタンを押して、コピーを選択します。



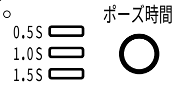
●コピー表示ランプがつきます。
押すたびに、ＭＴＲ１→ＭＴＲ２→ＭＴＲ３→ＭＴＲ４→…とランプが変化します。

3　ポーズが必要な時は以下の操作をします。（4倍速対応MTRの時は、4倍速コピーになるためポーズは機能しません。）

●モード選択ボタンを押して、ポーズモードを選択します。

●選択したポーズモード表示ランプがつきます。
押すたびに、OFF→ＳＰ→SSP→SPSP→SSPS→…とランプが変化します。（ポーズコントロールをしないでコピーのみのときはOFFにします）

●ポーズ時間選択ボタンを押して、センテンス間隔時間を選択します。



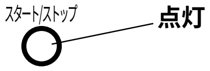
●選択したセンテンス間隔時間表示ランプがつきます。
押すたびに、0.5秒→1.0秒→1.5秒→…と変化します。

●練習倍率選択ボタンを押して、練習時間を選択します。

●選択した練習倍率表示ランプがつきます。
押すたびに、×1.0→×1.5→×2.0→…とランプが変化します。

4　教材編集録音を開始します。

●スタート／ストップボタンを押して教材録音を開始します。

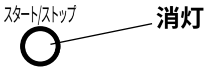


●ポーズ設定してあり文章をスキップするときは、文章スキップボタンを押します。

●ＭＴＲ１が再生状態、ＭＴＲ2が録音状態になります。
●4倍速対応のマスターテープレコーダーの時は4倍速でコピーします
●ポーズ設定の時、ポーズコントロールモード表示ランプが動作に合わせてつきます。
●そのときの文章に対してポーズコントロールがされず、次の文章へすすみます。
（注）文章が聞こえているときのみ有効です。

5　教材編集録音を終了します。

スタート／ストップボタンを押して教材録音を終了します。



●ＭＴＲ1、ＭＴＲ2が停止状態になります。

ご注意

●教材コピースタート中は、MTR1、2に対して操作はききません。
●ブース出力はすべてオフにしてください。（授業中に行わないでください）
●ブーステープレコーダーへの4倍速録音中はできません。

教材送出制御機能

■教材送出切換

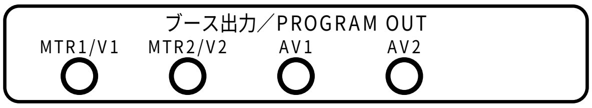
ブース、先生へ送出する音声の切り換えを行います。

●送出機器選択

エキスパート機能の使用チャンネルの設定により、つぎのようになります。
チャンネル1一斉授業時に生徒に教材を送出する教材機器を選択します。
複数チャンネル授業時はチャンネル別に生徒に教材を送出するかしないかの選択になります。

1 送出機器を選択します。

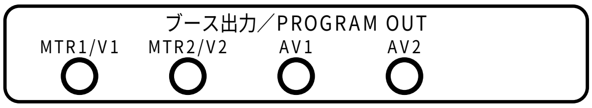
送出したい機器をブース出力で選択します。



- 選択した教材機器のブース出力ボタンのランプがつき、生徒に選択した教材機器のソースが送出されます。（一斉授業モードで電源を投入すると、MTR/V1がつきます）
  チャンネル1一斉授業時はいずれか1つ、複数チャンネル授業時は別々に選択できます。

2 教材送出を終了します。

選択されているブース出力ボタンを再度押します。



- 選択した教材機器のブース出力ボタンのランプが消え、生徒へ送出されなくなります。

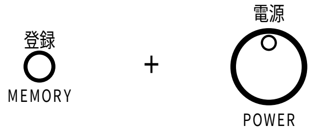
エキスパート機能

■エキスパート機能の変更

エキスパート機能シートをガイドピンにあわせて、生徒座席の位置におきます。
ＬＬ操作ユニットの電源は切っておきます。

1 エキスパート機能設定に入ります。

登録ボタンを押しながらＬＬ操作ユニットの電源を入れます。



●電源表示ランプがつき、設定されているエキスパート機能に対応してモニターボタンの表示ランプがつきます。

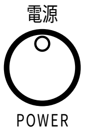
2 エキスパート設定に入ります。

設定が割り当てられている生徒座席のモニターボタンを押し、設定を変えます。

●設定したモニターボタンの表示ランプがつきます。
（設定機能は21ページの“エキスパート設定一覧表”参照）

3 エキスパート設定を終了します。

電源ボタンを押して電源を切ります。



●全表示ランプが消えます。

※レッスンパターンの設定の際は、本説明書末尾の「レッスンパターン設定シート」をコピーして設定内容を記載し、授業の切り換え時にご活用ください。

ご注意

●エキスパート設定を一度登録すると、変更しないかぎり、電源を入れると同じ設定になります。
●レッスンパターンボタンで電源を立ち上げると、電源を切るか他のレッスンパターンボタンを押すまでそのレッスンパターンに登録されているエキスパート設定が保持されています。

レッスンパターン機能

■レッスンパターンボタン

授業パターンを電源オンから32ステップ分、順番に記憶ができ、ワンタッチで再現できます。

●レッスンパターンを実行することによって授業中変更できるエキスパート機能

No.	拡張機能名	可／不可	備　　考
1	モデル練習モード	不可	
2	コミュニケーション復帰	可	コミュニケーション中とコールレスポンス中は、つぎのコミュニケーションとコールレスポンスから有効
3	マスキング	可	コミュニケーション中はつぎの生徒から有効
4	個別インカム時のチャイム音	可	
5	マスター卓とブース電源連動	不可	
6	ブース電源オフ指示	可	
7	ブース単独使用（制御不可）	不可	
8	ペア・グループの組みかた	不可	
9	ペアの組みかた	可	ペア中はつぎのペア開始から有効
10	スキャン方向	可	スキャン中はつぎのスキャンから有効
11	電源オン後のオールコール	不可	
12	遅刻者の授業への参加	不可	
13	スキャン時間	可	スキャン中はつぎのスキャンから有効
14	モニター／インカム時のルームスピーカー	可	
15	自動イジェクト	可	
16	教材録音時のマイクオフ	可	教材録音中はつぎの教材録音から有効
17	学習者手動録音禁止	不可	
18	使用チャンネル	不可	
19	ブース録音（CH1のみ）	可	次の録音から有効

●登録できないボタン

- ●生徒座席
- ●コールレスポンス
- ●レッスンパターン
- ●電源
- ●カウンターの登録とサーチ

●レッスンパターンボタンの出荷時の設定

レッスンパターンボタン1：一斉ヒアリング授業
●ＭＴＲ1の教材を全生徒に聞かせます。
●エキスパート設定：ブース電源連動する。オールコールなし。CH1一斉。
●記 憶 操 作 手 順：　①ブースの電源を一斉オンにして6秒間待つ
②全員CH1に割り当てる
③ＭＴＲ1が送出できる状態になる

レッスンパターンボタン2：自動録音
●ＭＴＲ1の教材を全生徒のBTRに録音させ、個別学習します。
●エキスパート設定：ブース電源連動する。オールコールなし。CH1一斉。
●記 憶 操 作 手 順：　①ブースの電源一斉オンにして6秒間待つ
②全員CH1に割り当てる
③自動録音状態にする

レッスンパターンボタン3：モデル授業
●モデルに指定する生徒の声を他の生徒に聞かせます。
●エキスパート設定：ブース電源連動する。オールコールなし。CH1一斉。
●記 憶 操 作 手 順：　①ブースの電源一斉オンにして6秒間待つ
②全員CH1に割り当てる
③個別モデル状態にする。

レッスンパターンボタン4：カンバーセーション2人
●横並びの生徒どうしを会話させます。
●エキスパート設定：ブース電源連動する。オールコールなし。CH1一斉。
●記 憶 操 作 手 順：　①ブースの電源を一斉オンにして6秒間待つ
②ペア状態にする

レッスンパターンボタン5：ブース単独使用（制御不可）
●エキスパート設定：ブース単独使用する。
●記 憶 操 作 手 順：　①ブース単独使用ができるようにする。

レッスンパターンボタン6：BTRへの教材コピー（L→L／R）
●エキスパート設定：ブース電源連動する。オールコールなし。CH1一斉。
ブース録音L→L／R
●記 憶 操 作 手 順：　①ブースの電源を一斉オンにして6秒間待つ
②全員CH1に割り当てる
③自動録音状態にする。

レッスンパターンボタン7：ＭＴＲ1の4倍速録音時のＭＴＲ2送出
＊マスターテープレコーダーとブーステープレコーダーが4倍速に対応していること。
また、4倍速録音中の教材送出にも対応していること。（6ページの“テープレコーダー機能表”参照）
●ＭＴＲ1を4倍速の自動録音として、ＭＴＲ2の音声を全生徒に送出します。
●エキスパート設定：ブース電源連動する。オールコールなし。CH1一斉。
●記 憶 操 作 手 順：　①ブースの電源を一斉オンにして6秒間待つ
②全員CH1に割り当てる
③ＭＴＲ1を4倍速、自動録音
④先生モニター、ブース出力をＭＴＲ2にする

レッスンパターンボタン8：複数チャンネル授業
●エキスパート設定：ブース電源連動する。オールコールあり。複数CH
●記 憶 操 作 手 順：　①ブースの電源を一斉オンにする。

レッスンパターン機能

●登録のしかた

必要なときは以下の手順で変更してください。
最大32手順、1手順は最大2分記憶が可能です。
エキスパート設定の変更を登録する場合は、あらかじめエキスパートを変更しておきます。

1 レッスンパターン登録状態にします。

登録ボタンを押します。

● 登録ボタンの表示ランプがつきます。

2 動作させたい手順通りに操作します。

● 最大32手順、1手順は最大2分記憶できます。
2分以内に次の手順への操作または登録を行わないとキャンセルになります。

3 登録します。

①手順を登録したいレッスンパターンボタンを押します。
②レッスンパターンボタンのランプが点滅している間に、再度そのレッスンパターンボタンを押します。

● 登録するレッスンパターンボタンのランプが点滅します。
● 登録ボタンの表示ランプが消え、押したレッスンパターンボタンへの登録を終了します。
● レッスンパターンボタンのランプが点滅している間（約3秒）に再度そのレッスンパターンボタンを押さないときは、点滅が消えて、登録操作がキャンセルされます。

ご注意

●レッスンパターンボタン5には出荷時に、ブース単独使用（制御不可）が登録されています。他の内容を登録すると、再度出荷時の内容に登録し直すことはできません。（その場合は、販売店にご相談ください）

●実行のしかた

1 実行したいレッスンパターンボタンを押します。

● 押したレッスンパターンボタンのランプがつき、登録した内容にしたがって、機器が動作します。
電源オフ時にレッスンパターンボタンを押した場合は、電源がオンとなり、エキスパート設定がそのレッスンパターンに登録されている内容となります。

2 動作を終了します。

● レッスンパターンボタンのランプが消えます。

3 動作を中断するときは、

再度、実行しているレッスンパターンボタンを押します。

● レッスンパターンボタンのランプが消えます。
動作は中断されます。

レッスンパターン記入シート

● レッスンパターン記入シートはこのページをコピーしてお使いください。

一斉ヒアリング	自動録音	モデル授業	ペアレッスン	ブース単独使用	BTRへの教材コピー(L→L/R)	4倍速録音時のMTR2一斉送出	複数ﾁｬﾝﾈﾙ授業

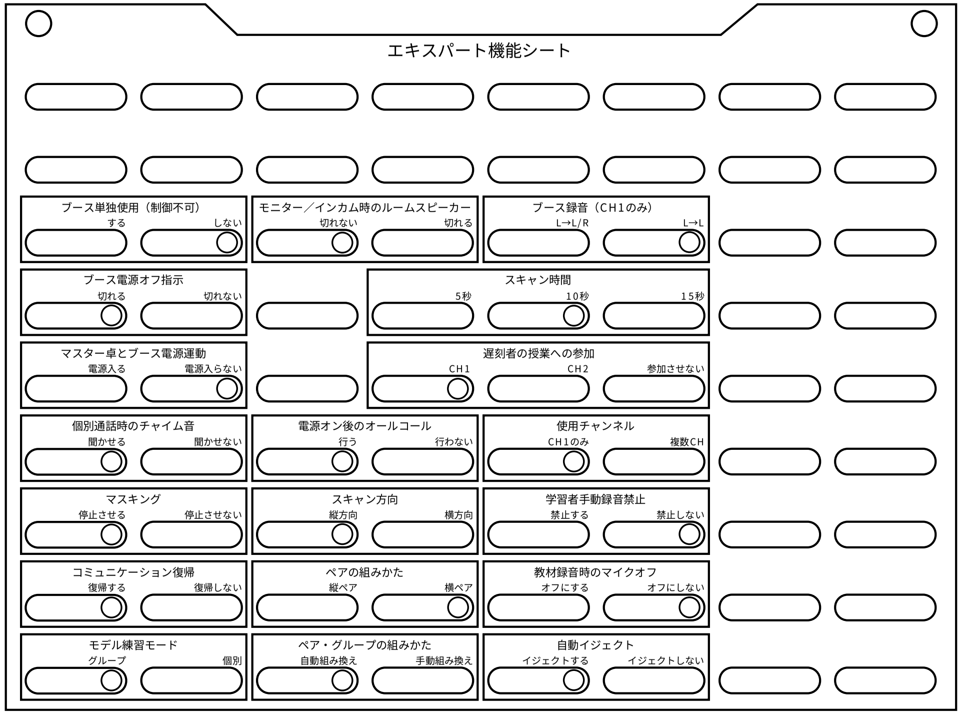
※工場出荷時の設定です。

レッスンパターン設定シート

●レッスンパターンを新しく設定するときは、この用紙を使用して作成してください。
●用紙はコピーしてお使いください。

ボタン番号　：	タイトル：
登録内容 先生モニター： ブース出力　： VP出力　　：	
事前準備	

エキスパート設定項目……登録ボタンを押しながら電源ボタンを押してください。



○印は出荷時の設定です。
エキスパート設定終了……電源ボタンを押して電源をOFFにしてください。
登録開始……電源ボタンを押して電源を入れてください。
　　　　　　登録ボタンを押してください。

	登録手順			時間	
	機能名	登録ボタン名	表示	分	秒
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、ラーニング・ラボラトリー・システムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。
注)　補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	品　番	WE-LL200シリーズ
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	☎（　　）　－		

松下電器産業株式会社
AV&セキュリティビジネスユニット
〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号　電話　フリーダイヤル　0120-878-410

NM0396-6122
A8QA4251GN

© 2003 Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd. All Rights Reserved.